

報告第4号

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の事業計画および決算に関する書類の提出について

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の平成30年度事業計画および平成29年度決算に関する書類を、別冊のとおり提出する。

平成30年6月4日提出

米原市長 平尾道雄

提案理由

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の経営状況を説明する書類を提出するものである。

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

平成30年度事業計画および平成29年度決算に関する書類

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

平成29年度事業報告および収支決算について

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

代 表 理 事 大 澤 勉

平成29年度 事業報告書

1. 庶務の状況

- (1) 役員に関する事項 別紙のとおり
 (2) 職員に関する事項 別紙のとおり

2. 事業の状況

別紙のとおり

3. 役員会に関する事項

(1) 評議員会

開会月日	議第号	議事事項	会議結果
平成29年6月7日	第1号	平成28度事業報告および収支決算について	原案承認
	第2号	平成29度事業計画および収支予算について	原案承認
	第3号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の名称変更について	原案承認
	第4号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団定款の一部変更について	原案承認
	第5号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の 理事および監事候補者の選任について	原案承認
	第6号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の 評議員候補者の選任について	原案承認
開会月日	報告	報告事項	
報告事項なし			

(2) 理事会

開会月日	議第号	議事事項	会議結果
平成29年5月23日	第1号	平成29年度事業報告および収支決算について	原案承認
	第2号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の名称変更について	原案承認
	第3号	評議員会日程案について	原案承認
平成29年6月7日	第1号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の 理事長（代表理事）、常務理事、常勤理事の選定について	原案承認
平成29年12月13日	第1号	平成29年度事業報告および収支決算の修正について	原案承認
平成30年2月20日	第1号	米原市伊吹薬草の里文化センター施設活性化事業実施について	原案承認
平成30年3月23日	第1号	平成30度事業計画（案）および収支予算（案）について	原案承認
開会月日	報告	報告事項	
平成29年5月23日	報第1号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の 理事および監事候補者の選任について	
	報第2号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団の 評議員候補者の選任について	
	報第3号	公益財団法人伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 職務執行報告（代表理事、常務理事、常勤理事）	
平成30年3月23日	報第1号	公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 職務執行報告（代表理事、常務理事、常勤理事）	

4. 契約に関する事項

別紙のとおり

5. 寄付金に関する事項

該当なし

6. 滋賀県総務部総務課の指示に関する事項

該当なし

7. その他重要事項

該当なし

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

役員名簿

平成30年3月現在

役職	氏名	任期	備考
代表理事	大澤 勉	H29年6月7日～ H31年度 評議員会議	
常務理事	西川 宏臣	”	
理事	石河 美千子	”	
理事	伊藤 信義	”	
理事	酒居 久和	”	
理事	谷村 敏博	”	
常勤理事	藤田 耕平	”	
理事	松田 正己	”	
理事	山崎 京子	”	
監事	要石 幸子	”	
監事	島崎 一男	”	

(理事：五十音順)

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

評議員名簿

平成30年3月現在

氏名	任期	備考
荒木 茂子	H29年6月7日～ H33年6月評議員会議 (H32事業報告)	米原市スポーツ推進委員
要石 正宏	”	米原市ホッケー協会
寫 真弓	”	いぶき認定子ども園
戸田 亙	”	双葉体育館 近江スポーツクラブ
福永 恒夫	”	米原市山麓剣道協会
古野 光春	”	いぶきスポーツクラブ
堀江 啓子	”	
堀川 清文	”	米原市スポーツ推進委員
真川 美和	”	NPO法人 MOSスポーツクラブ
松井 重廣	”	米原市伊吹老人クラブ連合会
宮部 道雄	”	伊吹山もりびとの会
横田 仁司	”	NPO法人 カモンスポーツクラブ

(五十音順)

平成29年度 公益財団法人 伊吹山麓スポーツ文化振興事業団 組織表

平成29年4月1日現在

山庫 4

理事	田中正昭
監事	要石幸子

常務理事	藤田耕平
常勤理事	西川宏臣
代表理事	大澤勉

事務局長	藤田耕平
事務局次長	岩山幸太郎
総務部長	清水啓子
施設管理部長	谷口康

山庫 2

評議員	荒木茂子
評議員	源雅子
評議員	福永恒夫
評議員	藤岡学
評議員	古野光香
評議員	堀江啓子
評議員	堀江啓子
評議員	横田仁司

理事	9名
監事	2名
評議員	12名

指定管理施設

山庫 1

職員	1
臨時職員	4
計	5(1)

所長	岩山幸太郎
職員	西脇栄子
(兼)臨時職員	(辻村真衣)
管理員	澤正芳
"	太田善雄
"	杉中宏行

山庫 1

職員	5
臨時職員	10
計	15

館長	藤田耕平
職員(総務部長)	清水啓子
"(施設管理部長)	谷口康
"(公民館事務部長)	要石昌子
"(広報部長)	新木豊
臨時職員	今枝孝広
会計補助	的場雅子
(兼)事務補助	(辻村真衣)
風呂代行員	福永茂和
"	奥田滋
"	乾政治
風呂受付	草野英子
"	堀江多恵子
(兼)庶務管理	(乾政治)
図書臨時	横山和子
"	松井路子
ホール補助	随時
清掃常駐員	1・5名(委託業者)

山庫 2

職員	1(1)
臨時職員	3
計	5(1)

(兼)館長	藤田耕平
副館長	的場育代
臨時職員	小寺弘美
"	世一みゆき
"	塚本洋子

山庫 1

職員	1
臨時職員	13
計	14

(兼)所長	岩山幸太郎
(兼)臨時職員	(西脇栄子)
(兼)臨時職員	(辻村真衣)
(管理員)	(澤正芳)
"	(太田善雄)
"	(杉中宏行)

山庫 1

職員	1
臨時職員	13
計	14

(兼)所長	岩山幸太郎
(兼)臨時職員	(西脇栄子)
臨時職員	(辻村真衣)
監視員	13
(管理員)	(澤正芳)
(管理員)	(太田善雄)
"	(杉中宏行)

山庫 1

職員	1
臨時職員	13
計	14

(兼)所長	岩山幸太郎
(兼)臨時職員	(西脇栄子)
臨時職員	(辻村真衣)
(管理員)	(澤正芳)
"	(太田善雄)
"	(杉中宏行)

山庫 1

職員	37(1)
臨時職員	17名
計	54(1)

主任支援員	富田正子
副主任支援員	中川初恵
"	松田八重子
支援員(総括)	(新木豊)
支援員	伊賀並京子
"	伊賀並みどり
"	小原麻美
"	清水冬子
"	竹岡吾郎
"	谷田雅美
"	塚本紀子
"	堀留美子
"	堀居美津子

山庫 1

職員	7名
臨時職員	17名
計	24名

支援員	宮永 滋子
"	山崎 百合
"	大森 祐樹
"	有賀 欣哉
運転	藤岡 学
(短絡支援員)	(20名)
木原 愛子	的場 由美
高橋 光子	森田 伸子
谷垣 広子	宮川 育子
平山 よう子	杉山 豊子
藤田 さとみ	福永 啓子
堀川 栄美子	松田 英莉

山庫 1

職員	7名
臨時職員	17名
計	24名

高橋 みなみ	松田 彩耶
茂森 光司	高橋 遼子
大橋 京子	
曾我 潤子	
矢野 由英	
森田 浩太	

財団職員 61名
 職員 7名 財団本部 5名 (職員1名 臨時職員4名)
 臨時職員 17名 指定管理19名 (職員6名 臨時職員13名)
 パート37名 受託事業37名(職員(1)名 パート他 37名)

平成29年度運営事業の実施状況に関する報告

	事業区分	事業名	事業内容	実施状況
1	エンジョイ講座	草木染（ひとえ袱紗） ＝春咲メニュー＝	2017年度 「エンジョイ講座」	4/22 受講者10名
2	〃	薬草&山野草を楽しむ 講座 ・定員20名 ・全5回	〃	5/20 受講者19名 5/31 6/25 9/9 10/14
3	〃	湖北センゴクセミナー 2017 ・定員50名 ・全5回	〃	5/21 受講者51名 6/25 7/23 9/24 10/1
4	〃	リンパを流して顔つや 美人に ・定員20名 ・全1回	〃	6/18 受講者24名
5	〃	SAKIAMIBAG ・定員20名 ・全1回	〃	7/7 受講者21名
6	〃	気軽にホームパーティ ・定員20名 ・全1回	〃	申込み多数により2回に分けて開講 9/1、8 受講者40名
7	〃	庭木の手入れ ・定員15名 ・全2回	〃	10/21、28 受講者13名
8	〃	肉まん&あんまん ・定員20名 ・全1回	〃	10/22 受講者20名
9	〃	手作り味噌 ・定員20名 ・全1回	〃	10/28 受講者28名
10	〃	フラワーアレンジメン ト Lesson ・定員30名 ・全6回	〃	5/25 受講者44名 ～ 11/16

11	エンジョイ講座	おとなのお出かけ ・定員 45 名 ・全 1 回	2017 年度 「エンジョイ講座」	6 / 17	受講者 53 名
12	〃	片づけ Lesson ・定員 30 名 ・全 1 回	〃	7 / 1	受講者 24 名
13	〃	朝のからだめぐりヨガ ・定員 20 名 ・全 20 回	〃	5 / 16 ～ 3 / 20	受講者 7 名
14	〃	日曜ヨガ lesson ・定員 15 名 ・全 20 回	〃	5 / 14 ～ 3 / 18	受講者 22 名
15	〃	シェイプ UP ・定員 15 名 ・全 20 回	〃	5 / 16 ～ 3 / 20	受講者 6 名
16	〃	からだチェック ・定員 20 名 ・全 2 回	〃	6 / 7、24	受講者 21 名
17	〃	クラブハリエでレモン を使って	〃	7 / 2	受講者 15 名
18	〃	子どもたちのお料理ク ラブ ・定員 10 名 ・全 4 回	〃	5 / 13 ～ 8 / 5	受講者 12 名
19	〃	おやこステップ教室 ・定員 20 組 ・全 11 回	〃	5 / 26 ～ 3 / 9	受講者 18 組
20	〃	年長さんのえんぴつ の おけいこ ・定員 10 名 ・全 6 回	エンジョイ講座「春待ち menu」	10 / 6 ～ 12 / 8	受講者 7 名
21	〃	美しい姿勢は美 & 健康 のもと ・定員 20 名 ・全 1 回	〃	10 / 24	受講者 27 名

22	エンジョイ講座	糍屋の本格甘酒 ・定員 20 名 ・全 1 回	エンジョイ講座「春待ち menu」	1 2 / 2 0 受講者 40 名
23	〃	花結び編み BAG ・定員 8 名 ・全 3 回	〃	1 0 / 4、1 1、2 5 受講者 12 名
24	〃	Xmas リース	〃	1 2 / 7 受講者 22 名
25	〃	新春 フラワーアレンジメント	〃	1 2 / 2 7 受講者 35 名
26	〃	春を迎える和菓子 ・定員 20 名	〃	2 / 2 5 受講者 16 名
27	〃	春待ち球根の寄せ植え	〃	2 / 2 4 受講者 24 名
28	〃	紙博 in 京都 ・定員 20 名	〃	1 2 / 2 3 受講者 25 名
29	主催事業	SOMOSOMO マルシェ	OMOSOMO マルシェ	5 / 2 8 参加者 2,000 名
30	〃	夏祭り 息吹の奏 (4 施設共同開催事業: 実行委員会決算)	夏祭り 息吹の奏	7 / 3 0 参加者 4,000 名
31	〃	山の日制定記念イベント 「芝生広場まるごと BEERGARDEN」	芝生広場まるごと BEERGARDE	8 / 1 1 参加者 1,000 名
32	〃	伊吹山音楽祭 2017		9 / 1 7、1 8 参加者 700 名
33		岸谷香コンサート		1 0 / 2 8 参加者 320 名

34	主催事業	キッズフェス 2017 いぶき 青少年作品展		11 / 20 参加者 320 名
35	”	文化庁劇場・音楽堂等活 性化事業「人形劇」		1 / 20 参加者 100 名

【伊吹山文化資料館】

平成29年度運営事業の実施状況に関する報告

	事業区分	事業名	事業内容
1	資料館運営事業	資料収集事業 (学芸員との業務連携)	伊吹・山東地域を中心に市内に残る貴重な資料に対する情報の収集を行い、とくに山麓地域における自然資料、考古資料、歴史資料、文献資料等の収集を積極的に行うことで、その散逸を防ぐとともに、展示や啓発活動などに活用した。あらたな、収集資料について専門家の指導を得ながら調査を行い、展示・報告を行った。 (四季農耕図屏風等)
2	資料館運営事業	資料保管事業 (学芸員との業務連携)	資料館には約300点の展示資料と約1,000点の収蔵資料があり、その内訳は民俗資料を中心に、自然資料、考古資料、歴史資料、文献資料などがある。これらは、大切な市の財産として専門職員を有する文化財所管課によって保管や活用が行われる必要があり、所管課と密接に連携し、指導を受けながら行った。また、一部寄託資料の取扱いについても所管課の許可と立会いのもとで行った。
3	資料館運営事業	資料貸出業務 (学芸員との業務連携)	資料館では年間20件程度の資料(写真・書籍含む)の貸し出しや、写真の掲載の許可申請等がある。対象は、学校が多く、庁内や関係機関、他の博物館施設、出版社・マスコミなどがある。保管資料は市の教育財産であることから、これらの貸し出し手続きについては文化財所管課を通じて積極的に行った。 学校への貸し出しについては、どのような資料がどの授業・活動に利用できるのかをリサーチし、情報化して、積極的に市内の各学校へ提案する。あらたに、ケアセンターや各集落のサロンでおこなわれる回想法事業への民具の貸し出しキットを用意して貸し出しを充実させた。
4	展示事業	常設展示 (学芸員との業務連携)	常設展示は、資料館のメインテーマ「伊吹山地とその山麓の自然と文化」にそって、4つの展示室それぞれにサブテーマを設け、さらに22の小テーマに分けている。 指定管理移行後10年目を迎え、引き続き展示内容や資料の点検をし、損傷等があったものについては、修理等で補修をし、来館者の立場になって展示内容の充実と、展示室の維持管理を行うよう心がけた。 米原市のシンボルである「伊吹山」をキーワードに、米原市らしい展示のあり方と情報の発信に努めた。
5	展示事業	企画展示 (学芸員との業務連携)	常設展は、全体を通じて資料館のメインテーマ「伊吹山地とその山麓の自然と文化」を広く学んでもらう、体感してもらい、伊吹山や市内山麓地域の情報を発信することを目的としたものである。これに対し企画展示は、特別に選定した情報を特定期間内において深化した内容で展示公開するもので、普段見ることができない資料や作品に接していただき、山麓地域を中心に新たな米原市の情報を発信するものである。 平成29年度は7回の企画展を実施、開館以来の企画展を継続している。 今年度は玄関ホールでのミニ企画展も不定期ではあるが実施している。 《平成29年度》 1. 「霊仙山～その信仰と山麓のくらし～」 (3/12～4/23 429人) 2. 「小さな宝石 ～昆虫の世界・村松佳優写真展～」 (4/29～6/11 1,614人) 3. 「ガラスと紙の供宴 ～スタンドグラスと折り紙作品展～」

			<p>(7/1~8/6 724人)</p> <p>4. 「水のしらべ 琵琶湖のうた ～福山聖子 絵画展～」 (8/13~9/18 735人)</p> <p>5. 「プロバガンダポスターにみる戦争展 ～まいばらの戦争と平和展～」 (9/23~10/22 452人)</p> <p>6. 「伊吹山 花ごよみ ～加藤利秀・征子写真展～」 (11/3~12/24 750人)</p> <p>7. 「鈴鹿山麓の山寺 ～靈仙山の山岳信仰を探るために～」 (3/10~4/8 ただし3/31までの人数 320人)</p> <p style="text-align: right;">【合計 5,024人】</p> <p>玄関ホール ミニ企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しめ縄 ・茶室 (田中家文書) ・戦争関連 ・友の会俳句 (火起し・円空資料館)
6	教育普及事業	いぶき歴史アカデミー (学芸員との業務連携)	<p>平成29年度は、引き続き伊吹山文化資料館独自の講座を設け、年間テーマを取り上げて「いぶき歴史アカデミー」を開催する。休日開催により受講生の増加を図り、広く募集して受講される方の範囲を広げ、資料館ファンを増やす。</p> <p>テーマは「近江で名を馳せた他国の武将たち」 毎月第2日曜日午前中開催</p> <p>5/28 「元亀争乱と信長の武将たち」 講師：滋賀県教育委員会 松下 浩 氏 (62人)</p> <p>6/18 「朝倉氏と近江 (元亀争乱)」 講師：一乗学アカデミー 水野 和雄 氏 (53人)</p> <p>7/30 「米五郎佐 丹羽長秀 (安土城普請)」 講師：京都市立芸術大学 畑中 英二 氏 (48人)</p> <p>8/20 「佐久間信盛と追放された武将たち」 講師：安土城考古博物館 高木 叙子 氏 (53人)</p> <p>9/18 「攻めの三佐 森 可成 (宇佐山城)」 講師：日野近江商人ふるさと館 振角 卓哉 氏 (50人)</p> <p>10/29 「足利歴代と近江 (鈎の陣ほか)」 講師：米原市教育委員会 小野 航 氏 (41人)</p> <p>11/19 「赤鬼 井伊直政 (佐和山城・彦根城)」 講師：柏原宿歴史館 谷口 徹 氏 (47人)</p> <p>12/10 現地研修「旧秀隣寺庭園と朽木の史跡」 講師：滋賀県立大学 中井 均 氏 (41人)</p> <p>1/14 「二代目関白 羽柴秀次 (八幡山城)」 講師：近江八幡市教育委員会 坂田 孝火彦 氏 (36人)</p> <p>2/18 「仏の茂助 堀尾吉晴 (佐和山城)」 講師：彦根市教育委員会 下高 大輔 氏 (44人)</p> <p>3/25 「五奉行筆頭 浅野長政 (坂本城)」 講師：大津市教育委員会 西中 久典 氏 (40人)</p> <p style="text-align: right;">【全11回 合計515人】</p>

7	教育普及事業	古文書に親しもう！ —初級編—	<p>今年度は、身近な古文書に触れ読めることができるようになることを目的に、昨年度からの受講生も引き続き受講していただき、新たに受講生を増やした。</p> <p>講師：米原市歴史文化財保護課 小野 航 氏 (実施項目)</p> <p>6/28 「古文書の世界—導入—」 (18人) 7/21 「古文書を読む 武家書状1」 (18人) 8/18 「古文書を読む 武家書状2」 (15人) 9/15 「古文書を読む 武家書状3」 (17人) 10/20 「実物を見てみよう」 (15人) 11/17 「江戸の村びとたち1 取締規約を読む」 (14人) 12/15 「江戸の村びとたち2 取締規約を読む」 (14人) 1/19 「江戸の村びとたち3 取締規約を読む」 (14人) 2/16 「江戸の村びとたち4 取締規約を読む」 (15人) 3/16 「江戸の村びとたち5 取締規約を読む」 (10人)</p> <p style="text-align: right;">【全10回 合計150名】</p>
8	教育普及事業	米原市歴史講座 (市直営業務により 学芸員と業務連携)	<p>《教委主催事業：米原市歴史講座の受け入れ》 米原市に関連する歴史・自然などさまざまなテーマを取り上げて、研究者や地域の方からわかりやすいお話をいただき、さらに、市内や隣接地域の史跡や文化財を探訪する内容を加えて、内と外から、深く米原市の歴史文化、民俗、自然を学ぶことを目的とした、「歴史講座」が文化財所管課で開催され、この中で、山麓地域を対象とした講座内容やテーマの設定などの企画を担当し、資料館が地域の生涯学習の場となるよう市の歴史講座を受け入れた。資料館友の会も参加し、研修の一環とした。</p>
9	教育普及事業	体験事業	<p><「体験教室」伊吹山まるかじり> 伊吹山や身近にある素材、資料館の資料を使って、体験活動を行ったり、自分だけのオリジナルな作品づくりを実施した。 低学年は、親子対象、中高学年は子どものみの参加も、可能とし「親子の絆」作りとなるよう、身近な素材の発見、親子でできる学習の継続、安全な子どもの居場所づくりにも寄与することなどを目的とした。</p> <p>《平成29年度実施の体験活動》 子ども体験教室（伊吹まるかじり隊） 郷土の自然・地理・地域の成り立ちや歴史を、体験活動を通じて深めることを目的に、低学年の子どもたちから、興味をもって参加できるような企画を進めた。 体験教室を通じて、米原市に誇りを持ち、地域の子もたちが、さまざまな機会に資料館に接する機会を提供することによって、子ども達の生活に資料館の存在を位置づけ、その意義を知ってもらう。</p> <p>(実施項目)</p> <p>5/3 「黒耀石でペンダント作り」 (57人) 6/3 「プロがおしえる彦根城」 (43人) 7/ 15 「ようこそ昆虫の世界へ —おもしろ話と昆虫探しに行こう—」 (43人) 8/ 12 「ステンドグラスとフォトスタンド作り」 (58人) 9/9 「草木染めでエコバック作り！」 (47人) 10/14 「昔の道具を使って 七輪で秋の味覚を楽しもう」 (57人)</p>

			<p>11/23 「のろし駅伝を見に行こう」 (33人) 12/ 2 「コキアでほうき作り」 (42人) 1/20 「綿から糸を作ろう ―糸車をまわしてみよう―」 (36人) 2/10 「折り紙でおひなさま作り」 (24人) 3/10 「地産地消 卵&イチゴでサンドウィッチ」 (54人) 小計 494人</p> <p>特別編1 そばを育てよう! 8/ 8 そばの種まき (40人) 11/11 そばの収穫 (31人) 12/23 手打ちそばに挑戦 (52人)</p> <p>特別編2 オオクワガタを育てよう 8/26 幼虫のお分け会 (36人) 11/25 マット詰め替え (33人) 小計 192人</p> <p style="text-align: center;">【全16回 合計686人】</p> <p>《夏休み・春休みこども歴史教室》 歴史分野のさまざまな体験を通じて、地域の成り立ちや歴史を知ること、故郷への愛着を深めることを目的に開催した。</p> <p>(実施項目) *夏休み歴史体験教室 (8/23) (午前の部) 「お茶室で茶道を体験！」 (10人) (午後の部) 「縄文時代の遺跡を掘ろう ―杉沢遺跡―」 (8人) 【合計 18人】</p> <p>*春休み歴史体験まつり (3/29) (午前の部) 「古代の鏡作り」 (18人) (午後の部) 「火起しに挑戦！」 (17人) 【合計 35人】</p> <p>《出前講座》 地域のサロンや子ども会などへの出前講座にも取り組んだ。</p>
10	教育普及事業	学校との連携	<p>資料館は、学校と地域（友の会）の橋渡しをする重要な役割を担っており、学校―資料―地域の良好な関係を構築してきた。学校利用としては、歴史・理科学習とともに総合的な学習の時間を利用した市内外の学校の学習に対応した。社会科・理科・総合的な学習の時間をより豊かにするために、資料館を活用して、展示を見たり、実物に触れたり、体験したりして、授業の一環として、地域の生きた学習としての一助にしてくれた。</p> <p>◎小学校3年生の「昔の暮らし」の体験学習として、「石臼できなこ挽き」「火鉢でかきもちやき」「なわない」「洗濯板体験」「火のし体験」など。 ◎伊吹山へ登ろう事前学習への協力と指導。 ◎小学校6年生社会科「歴史」など この他、出前の体験活動や館内見学、聞き取り調査の</p>

			<p>協力、伊吹山中学校・大東中学校の職場体験の受け入れを行った。</p> <p>◎夏休みの期間中に資料館に足を運び、伊吹山中学校1年生の歴史の学習で地元での発掘された出土品を見て観察、スケッチなど記入してもらった。課題の協力をした。成果作品を滋賀県埋蔵文化財センターで展示した。</p>
11	資料館友の会事業	資料館友の会の育成	<p>資料館には現在30名の市民ボランティア「伊吹山文化資料館友の会」が活動している。友の会は資料館開館前の平成9年から準備作業を教育委員会の指導のもとで行っており、開館後は管理・運営・企画面において、教育委員会と協働しながら資料館の運営にあたってきた。廃校を利用し、手作りの暖かい展示と、来館者へのもてなしを目指す資料館活動には必要不可欠な存在であり、「全国廃校リニューアル50選」(文部科学省：平成15年度)選定の要因であると認識している。地域の人によって作られ、支えられている資料館活動を継続するために、今後も友の会活動育成と良好な関係構築、新たな会員の確保に努めた。</p> <p>さらに、友の会活動により、資料館で他の会員や児童・生徒、来館者に接することは、高齢者の多い会員にとって、今まで培ってきた知恵や経験を生かす場であり、生きがいの場となっている。友の会の育成は、高齢者の健康面でのケアにも役立つものであり、こういう側面でも活動の充実を図った。</p> <p>友の会の主な活動は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者への対応① <p>毎週土・日曜日に2名ずつ資料館に詰め、地域の情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者への対応② <p>予約団体への展示解説や、社会科・総合学習での児童生徒に対する指導・実演を通じて、山麓文化の伝承に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習の講師 ・体験教室等の講師 <p>親子対象の体験教室の講師として、七輪を使ってサンマ焼き体験、ソバ作り(種まき・収穫・そば打ち)コキアのほうき作りの講師役として活動していただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍谷大学の聞き取り調査への協力。 ・定期清掃活動 <p>現在行われている毎月第1金曜日の定期清掃を継続して、内外の環境美化に努めていただいていた。また、夏場の葉刈りや年末の清掃、門松作りなどを委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究活動 <p>収蔵庫での民具の仕分けや常設展示のリニューアルについても指導をしていただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 <p>ボランティア活動の先進地で研修を実施することで、会員相互が山麓地域に関する事象について共通理解をする活動を進めた。</p>
12	連携事業	福祉部局との連携	<p>「回想法」は初期の認知症患者に対する有効な療法として各地で取り組まれている。その手法の一つに古い民具を活用したのがあり、かつて使っていた数種類の道具を実見しながら、過去の記憶を引き出し、参加者が相互に語り合うなかで病状の進行を防ぐことを目的とした。</p> <p>資料館には、昭和30年代まで利用されていたさまざまな民具が展示・保管されており、例えば台所用品・裁縫道具・学校用品などをセットにして、資料館職員が同行して福祉担当者と協働して回想法を行うことが可能であり、福祉部局との調整を行い実施した。</p> <p>また、地域のサロンの受入れや、資料館の資料を持ち出した出前講座など積極的に取り組み、教育のみなら</p>

			<p>ず、福祉面での資料館の役割を充実させた。 資料館が所在する春照区や隣接する高番区や上野区のまちづくり事業に協力して、地域における資料館の役割の充実に努めた。</p>
13	貸館業務	貸館業務	<p>貸館に伴う許可証の発行や利用料金の収受については厳正に行うが、利用促進のため、館内を明るく入館しやすいように保っていた。</p>

平成29年度運営事業の実施状況に関する報告

	事業区分	事業名	事業内容	実施状況
1	総合体育館 伊吹 B&G 海洋センター ※事業団事業	「わんぱく教室」 幼児運動教室 いぶき認定こども園	幼児に必要な運動を通して健康なからだをつくり、礼節、努力をする姿勢、友達と協力して取り組む姿勢など、社会性を養うプログラムをいぶき認定こども園と協力して実施。 (B&G 幼児運動プログラム)	5月19日 5歳児 20名×2教室 6月9日 4歳児 22名×2教室 9月8日 4歳児 27名×2教室 10月27日 5歳児 20名×2教室 11月24日 4歳児 19名×2教室 12月15日 5歳児 18名×2教室 1月12日 4歳児 23名×2教室 2月16日 5歳児 19名×2教室 3月1日 4歳児 22名×2教室 総参加 433名
2	総合体育館 伊吹 B&G 海洋センター ※事業団事業	指導者派遣事業 1回	ノルディックウォーク 出前講座	10月21日 梅ヶ原公民館 参加者 11名 ボランティア 20名
3	総合体育館	文化スポーツ事業 ドリームレッスン	「今だから聞ける。ACPとは？」 東京学芸大学 佐藤善人氏による講演会 米原市スポーツ少年団ステップアップセレモニーと共催。 スポーツ少年団の指導者や保護者及び幼保育園関係者、総合型SCの関係者を対象に実施。	2月11日 山東公民館 参加者 33名
4	総合体育館	「ゲートボール教室」	小学生低学年を対象に地元高齢者の指導により、多世代との交流と地域の繋がり、輪を広げる。※いぶきSC連携	10月14日 参加者 19名
5	総合体育館	トレーニング基礎講習 通年	トレーニングルーム利用の初心者に機器の使用方法、効果、初心者向けメニューの提供を実施。 ○基本運動から、目的に応じた基本講習。運動習慣の向上を目指す。必要に応じ身体測定、血圧測定を実施。	4月～3月 187名
6	総合体育館	スポーツ関連相談事業 通年	地域の交流や活動で利用されるニュースポーツ等の説明、指導、資料提供（自治会、PTA）	4月～3月
7	伊吹第1グラウンド 伊吹第2グラウンド	*めざせ1日1万歩事業 健康Gゴルフ (定員144名 4回)	参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げる。 ○万歩計を貸与配布し歩数を計測。1日の歩行量の意識向上につなげた。 今年度新規で参加して下さる方も増えて大会の認知度が上がってきたように感じる。 米原市の各地から参加者があり、グラウンドゴルフを通じて交流の機会ともなっている。	5月26日 107名 7月13日 63名 9月13日 85名 11月17日 92名
8	伊吹第1グラウンド 伊吹第2グラウンド	*めざせ1日1万歩事業 健康Gゴルフ(室内) (定員40名 2回)	参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げた。 *参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げる。 寒い冬季でも運動する機会を提供し、高齢者の自宅への閉じこもりなどを減少させ、元気高齢者の増加に繋がる事業として実施。	1月19日 37名 3月9日 25名
9	伊吹第1グラウンド 伊吹第2グラウンド	「体力診断＝自分の体を 知ろう＝」 (40名 1回) 予定 3月	新体力測定(文科省)を基本に実施。高齢者の測定を実施し、自らの体力の現状をまず把握し、今後の運動に繋げる。また、計測数値はデータ管理を行い、毎年継続した実施によるデータの発信やその結果による事業の検証を実施。 また、米原市健康づくり課より出前講座にて保健師による健康講座を開催。	3月9日 25名
10	伊吹第1グラウンド 伊吹第2グラウンド 伊吹 B&G 海洋センター	*第8回 楽しくGゴルフ大会 (定員100名 1回)	【概要】Gゴルフ愛好者はもちろん、初めての方でも楽しく参加できるよう協会などの登録は関係なく、どなたでも参加可能。参加者に万歩計を配布し歩く意識を高める発信ができた。 ○B&G会長杯と銘打ち、B&G財団より賞状をご提供頂き、B&G本部と連携も図った。	10月24日 108名

11	伊吹 B&G 海洋センター	「アクアキッズ教室」 (幼児アクアリズム)	【概要】泳ぐことだけでなく、リズム体操・ゲームを通して楽しさとルールを理解。市内のこども園の4～5歳児を対象に実施。 指導者2名 センター職員 ○今年度は昨年度よりも大幅に人数が増え、にぎやかな教室となった。安全面では監視アルバイトの方に陸上での指導をしてもらい、安全に教室を実施することができた。	7月11日～7月14日 総参加 53名 4回
12	伊吹 B&G 海洋センター	「びよびよ水泳教室」 (低学年 初心者水泳)	【概要】泳ぎの苦手な小学低学年を対象に実施。水慣れ・顔つけ・ビート板キックなどを行い、泳ぐことの楽しさを教える。指導者2名 センター職員 ○泳げない小学低学年。顔付けなどで水に慣れ、ビート板やヘルパーを使ってのびを繰り返すことで水に浮いて進む感覚を身につけることができた。個人差はあったものの全員が初回時よりも水への恐怖は和らいだのではないかと思う。安全面では監視アルバイトの方に陸上での指導をしてもらい、安全に教室を実施することができた。	7月25日～7月28日 総参加 40名 4回
13	伊吹 B&G 海洋センター	*めざせ1日1万歩事業 「健康楽々教室」 高齢者転倒予防教室	【概要】「高齢者転倒予防教室」通年 高齢者の転倒予防教室。下半身の筋力維持と参加者同士の繋がり、健康に関する知識の習得を目指し、自宅でも継続して運動できるよう働きかける。定期的に測定を実施し、事業検証を行う。概ね60歳以上の方対象。 ○準備運動からウォーキング、筋力トレーニング、柔軟体操、クールダウンまで41種の体操を行う。内容を変えながら軽スポーツも実施。月1回茶話会&健康に関する知識話を実施し、地域高齢者のコミュニティーの場も提供。	4月～3月 毎週木曜日 総参加 508名 48回
14	伊吹 B&G 海洋センター	「水辺の安全教室」	【概要】いぶきスポーツクラブと共催し、活動的な子どもたちに、水の事故と安全について、楽しく学習する事業。 指導・監視 各3人 Ibuki 指導者会・センター職員 ○B&G 財団の推進する「水の事故ゼロ運動」実施(水中運動会・クリーン作戦・L ジャケット浮遊・安全紙芝居)ゲームをしながら、体が浮くというライフジャケットの安全性を体感した。	7月17日(午前の部・夜間の部) 総参加 47名 2回
15	伊吹 B&G 海洋センター	「水辺の安全教室」 学校連携事業	昨年度は日程調整が図れず中止となったが、今年度は春照小学校の2学年で実施。安全紙芝居や浮遊体験を行い、水辺での安全への意識を持ってもらえるように働きかけた。	7月19日 春照小学校3年生31名、6年生29名
16	伊吹 B&G 海洋センター	「カヌー体験」	いぶきスポーツクラブと共催で「小学生高学年を対象に、姉川ダム(曲谷)の大自然の中で楽しく活動できる楽しさを伝えるため、カヌーの体験と基本操作と安全対策を学び、日常では体験できない自然体験を実施。	8月12日 総参加 10名 1回
17	伊吹 B&G 海洋センター 伊吹 B&G 指導者会	「カヌー教室」	小学生高学年以上を対象に、自然の中で楽しく活動できる楽しさを伝えるため、カヌーの体験と基本操作と安全対策を学び、日常では体験できない自然体験を実施。プール・びわ湖で活動。	7月31日、8月1日、2日 総参加 6名 3回
18	伊吹 B&G 海洋センター	「幼児カヌー体験」	認定こども園と協力し、幼児のプールでのカヌー体験。水に浮かびバランスを取りながら、日常では体験できない体験を実施。	6月30日 8月3日 総参加 91名

19	伊吹 B&G 海洋センター	活動支援 * マリンフェスタ in 米原 (40名1回)	【概要】伊吹・山東 B&G 指導者、市内カヌー愛好会が中心になり市内の親子にカヌー活動及び海洋レクリエーションの普及と水辺活動の安全教育に努める。 指導者 センター職員 市職員 カヌー指導者会 B&G 指導者	9月10日
20	伊吹 B&G 海洋センター	滋賀県地域海洋センター連絡協議会 * 担当者会議参加	場 所：日野町役場防災センター他 参加者：滋賀県各海洋センター担当者	4月13日 6月22日 10月19日 2月8日 3月8日(総会)
21	伊吹 B&G 海洋センター	* 近畿ブロック連協 総会参加	場 所：日野町町民会館わたむきホール 虹 ふれあいホール 参加者：近畿各県海洋センター市町村長・責任者	5月11日
22	伊吹 B&G 海洋センター	滋賀県地域海洋センター連絡協議会 * B&G リーダー養成研修会参加	場 所：野洲市中主海洋センター 参加者：県連協海洋センター職員等7人 指導者：各海洋センター有資格者13人(内伊吹 BG 1人)	5月20日 21日
23	伊吹 B&G 海洋センター	滋賀県地域海洋センター連絡協議会 * びわこマリンスポーツの集い	場 所：高島市高島 B&G 海洋センター、艇庫 参加者：91人(近畿小4～中3 内伊吹 BG6人) 指導者：37人(内伊吹 BG・指導者会3人) ※今年度は近畿ブロック地域海洋センター事業も兼ねており、参加者数及び指導者数が例年より増加。	8月10日 11日
24	テニスコート いぶき SC	フレンドリーマッチ	地域の硬式テニス愛好者を対象に、交流を目的としたトーナメント交流大会を実施。	11月15日 7名
25	県立伊吹運動場	ホッケースクール レベルアップ編 初級編	昭和56年 びわこ国体以来、伊吹地区で根付いたホッケー競技を通じて、子どもたちの体力増進と団体競技活動の中で社会性を養う。また、地域指導者とのふれあいによる地域の繋がりを目指し、地域の活性化を担う。 ○滋賀県ホッケー協会、総合型スポーツクラブとの協力のもとジュニアユース世代(小・中学生)の競技力向上と初心者対象、愛好者を対象とした普及教室を実施。	レベルアップ編 9月～11月 総参加 398名 初級者編 8月～9月 総参加 91名
26	県立伊吹運動場	指導者研修会	役員・指導者・保護者等を対象に、よりホッケーの理解を深め、ルールへの見識を広め、指導スキルの向上を目指すためにルール講習会を実施。国際審判員による講義を実施。	1月28日 13名
27	他団体協力事業	伊吹地区体育振興会 米原市ホッケー協会他 米原市教育委員会	「スポーツフェスティバル」 5月21日 「いぶきふれあい体育祭」 10月29日 ※雨天の為、中止 「伊吹カップ」6月3日、4日 「西日本ホッケー大会」 11月18日19日25日26日 「女子日本リーグ」 5月13日14日 「かつとび伊吹」 8月27日 「健康いきいきウォーク」 11月12日 「ノルディックウォーク事業」 ※楽らく教室時実施	

平成29年度 主要管理業務一覧

300千円以上

施設名	契約内容	相手方	金額(円)
伊吹山麓青少年総合体育館	公益認定申請コンサルティング等業務	新公益支援コンサルタンツ(株)	907,200
	ホームページリニューアル業務	NAYA Design	594,000
葉草の里文化センター	日常清掃業務・窓ガラス清掃業務	企業組合 近江管理美装	4,369,104
	施設警備保障業務	セコム(株)	506,736
	電気工作物受託検査業務	(一財)関西電気保安協会	560,124
	常用昇降機保守点検業務	日本オーチス・エレベーター(株)	505,440
	空調設備保守点検業務	川瀬産商(株)	1,880,000
	舞台調光設備保守点検業務	パナソニックESエンジニアリング(株)	615,600
	プール上屋着脱業務	中日本産業(有)	345,600

平成29年度 施設利用状況

施設名		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
薬草の里文化センター	公民館	1,871	40,380	1,796	35,874	1,893	37,433
	ジョイホール	53	5,804	81	8,986	52	6,535
	図書	231	4,131	303	4,911	295	5,552
	薬草風呂	-	29,843	-	31,525	-	32,727
体育施設	総合体育館 アリーナ	890	13,048	788	13,669	790	13,630
	総合体育館 武道室	320	4,082	338	4,323	276	4,562
	総合体育館 トレーニング室	316	5,555	317	5,622	315	5,661
	すぱーく伊吹	175	5,562	181	6,095	200	6,389
指定管理 体育施設（滋賀県）	県立伊吹運動場	463	28,753	477	23,123	409	21,683
指定管理 体育施設（米原市）	第1グラウンド	202	9,569	209	10,669	170	7,737
	第2グラウンド	196	16,469	209	12,070	228	11,883
	B&Gプール	72	3,239	71	2,407	66	3,310
	テニスコート	534	1,744	565	1,912	490	1,527
伊吹山文化資料館	入館者	-	6,860	-	6,159	-	6,631
合計		5,323	175,039	5,335	167,345	5,184	165,260

平成26年度									
月	開場 日数	入場人数		前年度 同月比	売上金額		前年度 同月比	年間平均	
		大人	小人		大人	小人		年間日平均	年間日平均
4	25	2,340	118	0.9501	1,067,500	29,400	1,096,900	0.9998	
5	27	4,113	302	1.0719	1,940,900	74,100	2,015,000	1.0628	
6	25	3,142	173	0.8191	1,480,800	41,000	1,521,800	0.7997	
7	27	4,065	257	0.9669	1,919,900	61,650	1,981,550	0.9461	
8	26	4,090	402	0.9316	1,883,700	96,400	1,980,100	0.9017	
9	24	3,461	243	1.2492	1,656,500	59,400	1,715,900	1.2870	
小計	154	21,211	1,495	0.9868	9,949,300	361,950	10,311,250	0.9802	
10	27	2,811	161	1.0819	1,317,400	38,900	1,356,300	1.0860	
11	26	2,708	220	1.1057	1,248,800	51,750	1,300,550	1.1085	
12	8	857	69	0.5806	378,100	16,450	394,550	0.5367	
1	9	1,660	260	1.920	775,900	66,800	842,700	0.9904	
2	8	1,662	278	0.7776	771,100	67,250	838,350	0.8187	
3	26	2,356	270	0.9263	1,295,500	66,350	1,361,850	1.1878	
計	258	33,265	2,753	0.9589	15,736,100	669,450	16,405,550	0.9825	
		累計人数	1,326,020人		累計金額	374,028,410円			
		年間日平均	140人		年間日平均	63,687円			

※12月・1月・2月は土・日のみ営業
 12月営業日数 8日 (昨年12月は24日)
 1月営業日数 9日 (昨年1月は13日)
 2月営業日数 8日 (昨年2月は13日)

平成28年度									
月	開場 日数	入場人数		前年度 同月比	売上金額		前年度 同月比	年間平均	
		大人	小人		大人	小人		年間日平均	年間日平均
4	26	2,235	188	1.0168	1,271,550	53,050	1,324,600	1.0727	
5	25	3,800	267	0.8907	2,187,100	78,300	2,265,400	0.9196	
6	25	2,584	136	0.9527	1,416,350	39,650	1,456,000	0.9578	
7	27	3,995	289	1.0643	2,362,600	83,100	2,445,700	1.1415	
8	25	3,659	309	0.9448	2,046,650	90,450	2,137,100	0.9269	
9	25	2,378	214	0.7939	1,336,450	63,050	1,399,500	0.7895	
小計	153	18,651	1,403	0.9418	10,620,700	407,600	11,028,300	0.9641	
10	26	2,738	235	0.8670	1,531,950	67,250	1,599,200	0.8629	
11	24	2,002	136	0.8886	1,136,650	41,500	1,178,150	0.9265	
12	9	695	66	0.9781	350,350	18,800	369,150	1.0297	
1	9	1,201	218	1.0092	626,750	61,350	688,100	0.9759	
2	8	1,533	258	1.2175	844,900	78,400	923,300	1.2251	
3	27	2,144	245	1.2295	1,229,500	70,600	1,300,100	1.2858	
計	256	28,964	2,561	0.9633	16,340,800	745,500	17,086,300	0.9825	
		累計人数	1,390,272人		累計金額	408,504,810円			
		年間日平均	123人		年間日平均	66,743円			

※12月・1月・2月は土・日のみ営業

平成27年度									
月	開場 日数	入場人数		前年度 同月比	売上金額		前年度 同月比	年間平均	
		大人	小人		大人	小人		年間日平均	年間日平均
4	25	2,231	162	0.9695	1,193,350	41,450	1,234,800	1.1257	
5	27	4,248	318	1.0342	2,370,050	93,350	2,463,400	1.2225	
6	25	2,708	147	0.8612	1,477,800	42,400	1,520,200	0.9989	
7	27	3,698	327	0.9313	2,054,200	88,350	2,142,550	1.0812	
8	26	3,904	296	0.9350	2,219,500	86,050	2,305,550	1.1644	
9	25	2,978	287	0.8815	1,639,950	82,650	1,772,600	1.0330	
小計	155	19,767	1,527	0.9378	11,004,850	434,250	11,439,100	1.1094	
10	27	3,218	211	1.1538	1,792,550	60,700	1,853,250	1.3664	
11	24	2,246	160	0.8217	1,226,500	45,100	1,271,600	0.9777	
12	8	710	68	0.8402	341,800	16,700	358,500	0.9086	
1	9	1,182	224	0.7323	638,650	64,250	702,900	0.8341	
2	8	1,275	196	0.7582	696,650	57,000	753,650	0.8990	
3	27	1,788	155	0.7399	966,250	44,850	1,011,100	0.7424	
計	258	30,186	2,541	0.9086	16,667,250	722,850	17,390,100	1.0600	
		累計人数	1,358,747人		累計金額	391,418,510円			
		年間日平均	127人		年間日平均	67,403円			

※12月・1月・2月は土・日のみ営業
 12月営業日数 8日 (昨年12月は8日)
 1月営業日数 9日 (昨年1月は9日)
 2月営業日数 8日 (昨年2月は8日)

平成29年度									
月	開場 日数	入場人数		前年度 同月比	売上金額		前年度 同月比	年間平均	
		大人	小人		大人	小人		年間日平均	年間日平均
4	26	2,071	146	0.9150	1,141,700	42,700	1,184,400	0.8942	
5	26	3,535	293	0.9412	2,007,100	85,950	2,093,050	0.9239	
6	26	2,907	184	1.1364	1,562,450	53,900	1,616,350	1.1101	
7	26	3,465	219	0.8599	1,931,850	63,700	1,995,550	0.8159	
8	27	4,143	341	1.1300	2,099,150	99,100	2,198,250	1.0286	
9	26	2,544	172	1.0478	1,517,750	49,100	1,566,850	1.1196	
小計	157	18,665	1,355	0.9983	10,260,000	394,450	10,654,450	0.9661	
10	26	2,044	180	0.7481	1,028,800	51,600	1,080,400	0.6756	
11	9	1,390	156	0.7231	736,050	46,400	832,450	0.7066	
12	8	744	55	1.0499	345,800	15,850	361,650	0.9797	
1	9	1,482	228	1.2051	794,850	70,100	864,950	1.2570	
2	9	1,558	309	1.0424	888,700	94,600	983,300	1.0650	
3	9	1,453	224	1.677	817,650	65,250	882,900	0.6791	
計	227	27,336	2,507	0.9466	14,871,850	738,250	15,660,100	0.9165	
		累計人数	1,420,115人		累計金額	424,164,910円			
		年間日平均	131人		年間日平均	68,987円			

※11月・12月・1月・2月は土・日のみ営業

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預 金	16,382,618	13,683,935	2,698,683
商 立 替 金	180,585	227,319	-46,734
未 収 入 金	8,404	0	8,404
仮 払 金	1,848,843	1,512,024	336,819
	0	12,713	-12,713
流動資産合計	18,420,450	15,435,991	2,984,459
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
建物 附属 設備	9,458,600	0	9,458,600
(3) その他固定資産			
土地	37,351,776	37,351,776	0
建物	123,124,539	128,948,557	△ 5,824,018
車両 運搬 具 備 品	1	1	0
工 具 器 具	1	1	0
固定資産合計	174,934,917	171,300,335	3,634,582
資産の部合計	193,355,367	186,736,326	6,619,041
II 負債の部			
1. 流動負債			
買 掛 金	0	70,235	△ 70,235
未 払 金	6,102,572	5,161,145	941,427
前 受 金	22,200	21,100	1,100
未 払 消 費 税 等	1,556,772	1,612,525	△ 55,753
仮 受 金	964,400	2,903,200	-1,938,800
	5,000	0	5,000
流動負債合計	8,650,944	9,768,205	△ 1,122,261
2. 固定負債			
	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,650,944	9,768,205	△ 1,122,261
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	14,458,600	5,000,000	9,458,600
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,458,600)	(0)	(9,458,600)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	170,245,823	171,968,121	△ 1,722,298
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	184,704,423	176,968,121	7,736,302
負債及び正味財産合計	193,355,367	186,736,326	6,619,041

財産目録

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金	現金	運転資金	436,752
		小口現金	運転資金	192,980
		普通預金	運転資金	
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	1,441,759
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	3,463,300
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	881,126
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	3,529,641
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	2,231,190
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	861,949
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	1,241,389
		滋賀銀行伊吹代理店	運転資金	1,345,306
		J A レーク伊吹農協	運転資金	238
		ゆうちょ	運転資金	241,181
		定期預金		
		J A レーク伊吹農協	運転資金	515,807
商品		菓草の湯	180,585	
未収入金		使用料未徴収分	1,848,843	
立替金			8,404	
流動資産合計				18,420,450
(固定資産)				
基本財産	定期預金	J A レーク伊吹農協	公益目的事業 (50%) 及び管理業務 (50%) の用に供している。	5,000,000
特定資産	建物附属設備	グロイ伊吹展示室 改修工事	公益目的事業の用に供している。	9,458,600
その他固定資産	土地	総合体育館	公益目的事業、収益目的事業及び管理業務の用に供している。	37,351,776
	建物	総合体育館	公益目的事業、収益目的事業及び管理業務の用に供している。	45,647,025
		すば一く伊吹	公益目的事業、収益目的事業及び管理業務の用に供している。	58,631,473
		トレーニングルーム	公益目的事業、収益目的事業及び管理業務の用に供している。	18,846,041
	車両運搬具	タウンエース	公益目的事業の用に供している。	1
	工具器具備品	フェンスネットセット	公益目的事業、収益目的事業及び管理業務の用に供している。	1
固定資産合計				174,934,917
資産合計				193,355,367
(流動負債)				
	未払金		電気代等	6,102,572
	前受金		H30年度使用料	22,200
	預り金			
	源泉所得税		従業員源泉所得税	303,903
	社会保険料他		従業員社会保険料、労働保険料	482,436
	その他		従業員社内積立 他	770,433
	未払消費税等			964,400
	仮受金		会議日当	5,000
流動負債合計				8,650,944
固定負債合計				0
負債合計				8,650,944
正味財産				184,704,423

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物は旧定額法、及び旧定率法、その他の固定資産は定率法。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
建物附属設備	0	9,458,600	0	9,458,600
合 計	5,000,000	9,458,600	0	14,458,600

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	5,000,000		
特定資産				
建物附属設備	9,458,600	9,458,600	0	0
合 計	9,458,600	9,458,600	0	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却をおこなっている。）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	322,100,000	198,975,461	123,124,539
建 物 附 属 設 備	9,458,600	0	9,458,600
車 両 運 搬 具	1,512,000	1,511,999	1
工 具 器 具 備 品	315,000	314,999	1
合 計	333,385,600	200,802,459	132,583,141

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高
米原市補助金	米原市	0	25,260,000	25,260,000	0
合 計		0	25,260,000	25,260,000	0

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	551
修繕費充当額	541,400
合 計	541,951

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

2. 引当金の明細

なし。

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日 (決算仕訳を含む)

税込 単位：円

勘定科目	伊吹薬草の里文化センター	栗草湯	伊吹山文化資料館	伊吹山麓青少年総合体育館	伊吹B&G海洋センター	伊吹第1グラウンド	伊吹第2グラウンド	県立伊吹運動場	伊吹テニスコート
売上高	267,080	1,995,362	0	0	0	0	0	0	0
受講料	3,584,840	0	63,000	211,500	103,400	0	0	0	0
使用料	2,891,140	0	17,000	2,579,300	216,790	405,000	137,500	2,006,135	440,100
栗草風呂収入	0	15,660,100	0	0	0	0	0	0	0
自主事業収入	1,880,200	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産定期預金利息	0	0	0	551	0	0	0	0	0
補助金（米原市）	10,000,000	0	0	15,260,000	0	0	0	0	0
指定管理料（米原市）	49,771,000	1,800,000	8,801,000	0	12,250,000	2,411,000	331,000	0	280,000
指定管理料（滋賀県）	0	0	0	0	0	0	0	2,179,000	0
行政財産使用料	1,124,709	1,200	0	0	0	0	0	32,917	0
委託金（受託事業費）	692,000	0	0	17,022,360	0	0	0	0	0
資料館・入館料	0	0	502,480	0	0	0	0	0	0
売上高合計	70,210,969	19,456,662	9,383,480	35,073,711	12,570,190	2,816,000	468,500	4,218,052	720,100
期首商品棚卸高	0	227,319	0	0	0	0	0	0	0
期末商品棚卸高	0	227,319	0	0	0	0	0	0	0
仕入高	0	1,386,850	0	0	0	0	0	0	0
当期商品仕入高	0	1,386,850	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1,614,169	0	0	0	0	0	0	0
期末商品棚卸高	0	180,585	0	0	0	0	0	0	0
期末商品棚卸高	0	180,585	0	0	0	0	0	0	0
売上原価	0	1,433,584	0	0	0	0	0	0	0
売上総損益金額	70,210,969	18,023,078	9,383,480	35,073,711	12,570,190	2,816,000	468,500	4,218,052	720,100
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
税込 単位：円

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 (決算仕訳を含む)

勘定科目	法人会計	共通	合計
売上高	0	2,240	2,264,682
受講料	0	0	3,962,740
使用料	0	0	8,692,965
薬草風呂収入	0	0	15,660,100
自主事業収入	0	0	1,880,200
基本財産定期預金利息	0	0	551
補助金（米原市）	0	0	25,260,000
指定管理料（米原市）	0	0	75,644,000
指定管理料（滋賀県）	0	0	2,179,000
行政財産使用料	0	0	1,158,826
委託金（受託事業費）	0	0	17,714,360
資料館・入館料	0	0	502,480
売上高合計	0	2,240	154,919,904
期首商品棚卸高	0	0	227,319
期首商品棚卸高	0	0	227,319
仕入高	0	0	1,386,850
当期商品仕入高	0	0	1,386,850
合計	0	0	1,614,169
期末商品棚卸高	0	0	180,585
期末商品棚卸高	0	0	180,585
売上原価	0	0	1,433,584
売上総損益金額	0	2,240	153,486,320
役員報酬	330,000	0	330,000

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 (決算仕訳を含む)

税込 単位：円

勘定科目	伊吹薬草の里文化センター	栗草湯	伊吹山文化資料館	伊吹山麓青少年総合体育館	伊吹B&G海洋センター	伊吹第1グラウンド	伊吹第2グラウンド	県立伊吹運動場	伊吹テニスコート
報酬費	810,079	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	23,634,075	5,221,108	5,530,264	9,755,294	5,404,887	0	0	598,080	0
中金	240,000	0	60,000	288,000	0	0	0	0	0
旅交通費	241,140	0	1,700	6,000	1,360	0	0	0	0
通信費	132,318	0	67,023	67,521	62,924	13,797	8,713	63,779	0
消耗品費	2,882,199	1,257,071	141,883	168,239	391,540	31,822	25,713	228,136	63,078
食糧費	98,301	0	0	5,618	653	753	0	0	0
修繕費	1,154,872	652,344	102,840	17,629	129,934	63,244	156,168	978,628	89,316
印刷製本費	132,084	42,120	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	240,861	5,225,075	0	57,829	0	0	0	0	0
車両維持費	4,907	0	0	108,950	0	0	0	0	0
水道光熱費	8,621,534	3,965,575	935,478	2,080,180	1,279,884	1,593,841	49,492	1,828,858	0
賃貸借料	158,877	0	39,566	392,954	0	0	0	67,096	0
リース料	661,984	0	227,448	136,080	0	0	0	0	0
保険料	227,727	0	17,290	519,605	194,280	0	0	34,850	0
支払負担金	15,700	0	5,000	28,350	68,000	0	0	0	0
委託料	9,862,916	360,000	469,836	1,214,052	522,672	174,810	50,000	149,556	0
支払手数料	177,552	288,900	15,012	37,800	92,340	1,512	540	6,264	0
運営・事業費(イベント活動)	5,579,447	0	0	104,461	28,547	5,248	0	0	0
広告宣伝費	248,750	82,204	6,528	163,744	32,096	19,584	19,040	44,608	51,136
講座経費(材料費)	2,595,545	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	318,187	0	71,610	195,878	14,298	540	540	540	540
法定福利費	2,567,681	0	499,839	1,930,227	509,911	0	0	0	0

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
税込 単位：円

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 (決算仕訳を含む)

勘定科目	法人会計	共通	合計
報償費	0	0	810,079
人件費	0	0	50,143,708
中退金	0	0	588,000
旅費交通費	0	0	250,200
通信費	0	0	416,075
消耗品費	0	0	5,189,681
食糧費	0	0	105,325
修繕費	0	0	3,344,975
印刷製本費	0	0	174,204
燃料費	0	0	5,523,765
車両維持費	0	0	113,857
水道光熱費	0	0	20,354,842
賃借料	0	0	658,493
リース料	0	0	1,025,512
保険料	0	0	993,752
支払負担金	0	0	117,050
委託料	604,800	0	13,408,642
支払手数料	3,456	0	623,376
運営・事業費(イベント活)	0	0	5,717,703
広告宣伝費	0	0	667,690
講座経費(材料費)	0	0	2,595,545
雑費	53,110	0	655,243
法定福利費	0	0	5,507,658

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日(決算仕訳を含む)

税込 単位：円

勘定科目	伊吹薬草の里文化センター	栗草湯	伊吹山文化資料館	伊吹山麓青少年総合体育館	伊吹B&G海洋センター	伊吹第1グラウンド	伊吹第2グラウンド	県立伊吹運動場	伊吹テニスコート
福利厚生費	81,388	15,566	8,104	80,390	12,038	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	5,824,018	0	0	0	0	0
接待交際費	5,000	0	0	27,981	0	0	0	0	0
租税公課	2,309,428	724,549	348,188	766,131	470,982	107,703	19,582	156,659	24,478
指定管理料精算額	0	0	2,800	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	4,800	408	0	0	0	0
宮民連携パートナーシップ	1,049,217	0	0	0	0	0	0	0	0
児童クラブ人件費	0	0	0	12,239,078	0	0	0	0	0
児童クラブ消耗品費	0	0	0	149,411	0	0	0	0	0
児童クラブ通信費	0	0	0	104,475	0	0	0	0	0
児童クラブ保険料	0	0	0	155,410	0	0	0	0	0
児童クラブ委託手数料	0	0	0	560,500	0	0	0	0	0
児童クラブ施設使用料	0	0	0	723,300	0	0	0	0	0
児童ク・車両維持費(燃料)	0	0	0	85,734	0	0	0	0	0
児童クラブ・修繕費	0	0	0	62,964	0	0	0	0	0
児童ク・支払手数料	0	0	0	9,644	0	0	0	0	0
児童クラブ・法定福利費	0	0	0	105,250	0	0	0	0	0
児童クラブ諸経費	0	0	0	439,000	0	0	0	0	0
児童クラブ受託事業精算金	0	0	0	2,318,823	0	0	0	0	0
委託費・資料館	0	0	180,000	0	0	0	0	0	0
販売管理費計	64,051,769	17,834,512	8,730,409	40,935,320	9,216,754	2,012,854	329,788	4,157,054	228,548
営業損益金額	6,159,200	188,566	653,071	-5,861,609	3,353,436	803,146	138,712	60,998	491,552
受取利息	140	0	40	49	30	18	7	8	10

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
税込 単位：円

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 (決算仕訳を含む)

勘定科目	法人会計	共通	合計
福利厚生費	0	0	197,486
減価償却費	0	0	5,824,018
接待交際費	5,000	0	37,981
租税公課	1,100	0	4,928,800
指定管理料精算額	0	0	2,800
会議費	0	0	5,208
官民連携パートナーシップ	0	0	1,049,217
児童クラブ人件費	0	0	12,239,078
児童クラブ消耗品費	0	0	149,411
児童クラブ通信費	0	0	104,475
児童クラブ保険料	0	0	155,410
児童クラブ委託手数料	0	0	560,500
児童クラブ・施設使用料	0	0	723,300
児童ク・車両維持費(燃料)	0	0	85,734
児童クラブ・修繕費	0	0	62,964
児童ク・支払手数料	0	0	9,644
児童クラブ・法定福利費	0	0	105,250
児童クラブ諸経費	0	0	439,000
児童クラブ受託事業精算金	0	0	2,318,823
委託費・資料館	0	0	180,000
販売管理費計	997,466	0	148,494,474
営業損益金額	-997,466	2,240	4,991,846
受取利息	0	0	302

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日 (決算仕訳を含む)

税込 単位：円

勘定科目	伊吹栗草の里文化センター	栗草湯	伊吹山文化資料館	伊吹山麓青少年総合体育館	伊吹B&G海洋センター	伊吹第1グラウンド	伊吹第2グラウンド	県立伊吹運動場	伊吹テニスコート
雑収入	2,479,910	0	12,710	246,904	26,830	0	0	0	0
営業外収益合計	2,480,050	0	12,750	246,953	26,860	18	7	8	10
営業外費用合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常損益金額	8,639,250	188,566	665,821	-5,614,656	3,380,296	803,164	138,719	61,006	491,562
特別利益合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期純損益金額	8,639,250	188,566	665,821	-5,614,656	3,380,296	803,164	138,719	61,006	491,562
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純損益金額	8,639,250	188,566	665,821	-5,614,656	3,380,296	803,164	138,719	61,006	491,562

残高試算表（部門対比）

損益計算書

事業所(合計)

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団
税込 単位：円

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日 (決算仕訳を含む)

勘定科目	法人会計	共通	合計
雑収入	0	0	2,766,354
営業外収益合計	0	0	2,766,656
営業外費用合計	0	0	0
経常損益金額	-997,466	2,240	7,758,502
特別利益合計	0	0	0
特別損失合計	0	0	0
税引前当期純損益金額	-997,466	2,240	7,758,502
法人税等	22,200	0	22,200
当期純損益金額	-1,019,666	2,240	7,736,302

監査報告書

公益財団法人

伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

代表理事

大 澤 勉 殿

平成30年5月 9日

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

監事

要石幸子

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

監事

島崎一男

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

平成30年度事業計画および収支予算について

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

代 表 理 事 大 澤 勉

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

【事業の概要(趣旨)】

公益財団法人として、事業団の目的に基づき地域住民の豊かな生活と活力ある地域社会の創造に寄与します。

文化活動及びスポーツ活動を通じて、地域文化の向上、市民の健康増進及び青少年の健全な育成を図るとともに、市民相互の交流の輪を広げ健康で文化の薫る新しいまちづくりの一助となることを願って各種事業を実施する。

また、この目的を達成するためには、活動の場となる施設は必要不可欠であり、事業団直営の施設だけでなく、米原市の文化・スポーツ施設を指定管理者等で受けることにより、質、量とも一層充実した文化及びスポーツの各種事業を推進する。

1. 総合体育館の運営事業

市民および伊吹山麓を訪れる青少年の健康増進、市民相互の交流活動の促進ならびに、地域におけるスポーツ振興を図るために、総合体育館・武道室・トレーニング室の積極的な運営管理に努めます。

2. 屋内運動場「すば一く伊吹」の運営事業

多目的施設として一般に広く開放することにより、生涯スポーツの振興と高齢者の生きがいづくり、更にはコミュニティ育成の場として大いに活用し、地域住民の健康・福祉の向上に寄与します。

3. 文化・スポーツ事業

子どもから高齢者までを対象に、トップアスリート等によるスポーツ講演および教室、測定会等を開催する。文化およびスポーツに親しむきっかけづくりの場を提供し、多くの人が自分に合った文化・スポーツ活動を楽しめるまちづくりの推進に寄与します。

4. スポーツ体験活動

市民の心身の健全な発達と体育・スポーツの普及振興を推進するために、市民の多様なスポーツニーズに応える各種スポーツ教室などを施設の特性を生かしながら実施します。特に、地域の認定こども園、幼稚園等と協力し、子どもたちの運動習慣を身につける導入として、幼児対象の運動教室を展開します。

5. 伊吹山・薬草をコンセプトにした学びと観光の拠点としての検討・展開

米原市指定管理施設の伊吹薬草の里文化センターを中心に、改装した2階展示ホールを活用し、地域住民との共存を図りながら、薬草を通した学びと観光の拠点を目指した取り組みを検討・展開します。

6. 放課後安心プラン受託事業(米原市)

米原市では、少子化や核家族化が進行している中で、安心・安全・ゆとりをキーワードに、子どもたちが安全で安心して過ごすことができる居場所、また、保護者も安心して子どもを預けることができる居場所づくりをめざした放課後安心プランの推進に取り組まれています。

そこで、伊吹地域の居場所の拠点として、伊吹薬草の里文化センターを活用しての「放課後児童クラブ事業」を米原市から受託して市役所と地域・市民による連携で取り組んでまいります。

7. 指定管理施設の円滑な運営

米原市社会教育施設及び滋賀県立体育施設が、本市(県)の中核的な施設であるため、土・日、祝日を中心に各種事業(大会)への利用を図る一方で、近年、生涯学習(スポーツ)への関心の高まりから、空き時間を中心に施設の特性を生かし関係団体との連携のもと住民の主体的・継続的な活動を支援することにより各施設の利用拡大に努め適切な管理運営を行います。

- (1) 米原市伊吹薬草の里文化センター
- (2) 米原市伊吹山文化資料館
- (3) 米原市伊吹 B&G 海洋センター
- (4) 米原市伊吹第1グラウンド
- (5) 米原市伊吹第2グラウンド
- (6) 米原市伊吹テニスコート
- (7) 滋賀県立伊吹運動場

8. スポーツクラブの育成・支援

スポーツの習慣化、多世代が楽しく参加できる場の提供、地域の人材と連携するスポーツシステムづくりを目指す総合型地域スポーツクラブ育成・支援を行います。

9. 啓発活動

各種事業を通じて、本事業団の所期の目的を達成するための啓発活動を推進します。

10. その他

その他、本事業団の目的達成に必要な事業を行います。

平成30年度 公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 組織表

理事

伊藤 信哉
石河美千子
酒屋 久和
谷村 敏博
松田 正己
山崎 京子

常務理事

藤田 耕平
西川 宏臣
事務局長 (藤田 耕平)
事務局次長 (岩山幸太郎)
事務局次長 (清水 啓子)
施設管理部長 (谷口 康)

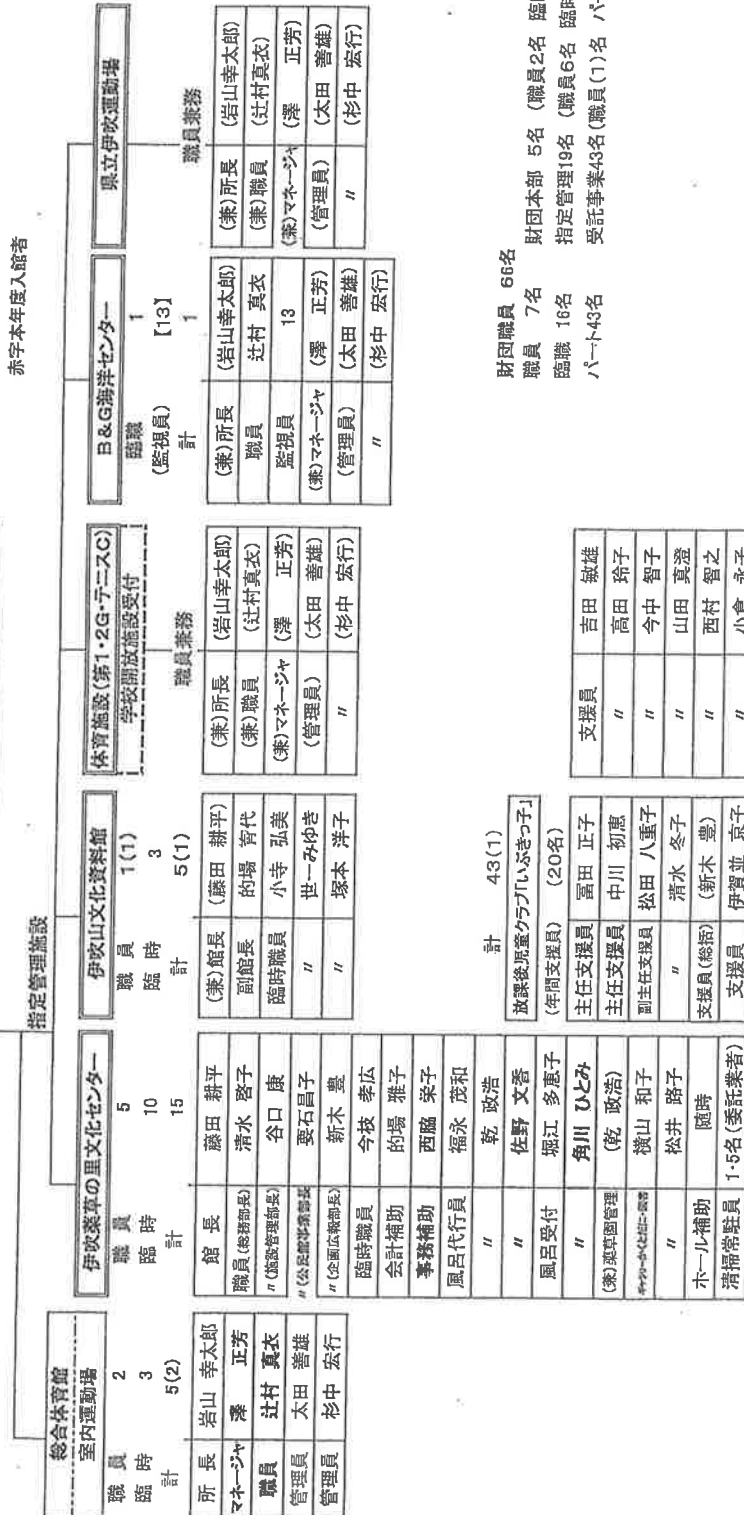
評議員

荒木 茂子
栗石 正宏
嵐 真弓
戸田 夏
古野 光春
堀江 啓子

評議員

堀川 清文
堀江 啓子
真川 美和
松井 重廣
宮部 道雄
横田 仁司

平成30年4月1日現在



財団職員 66名
 職員 7名
 臨時職員 19名
 パート43名

財団本部 5名 (職員2名 臨時職員3名)
 指定管理19名 (職員6名 臨時職員13名)
 受託事業43名 (職員1名 パート他 43名)

堀川 栄美子	福永 佳織
的場 由美	瀧上 れいな
宮川 育子	
森田 浩太	
森田 伸子	
矢野 由菜	
堤 由美	

池田 恵美子	高橋 光子
大橋 京子	谷垣 広子
奥出 大真	塚本 紀子
木原 愛子	平山 よう子
杉山 豊子	福永 馨子
菅我 潤子	藤田 さとみ
高橋 澄子	堀内 淳子

支店員	吉田 敏雄
"	高田 玲子
"	今中 智子
"	山田 真澄
"	西村 智之
"	小倉 永子
運転	シルバー人材センター
(定期休職中の支店員) (23名)	
池田 恵美子	高橋 光子
大橋 京子	谷垣 広子
奥出 大真	塚本 紀子
木原 愛子	平山 よう子
杉山 豊子	福永 馨子
菅我 潤子	藤田 さとみ
高橋 澄子	堀内 淳子

事業区分	事業名	開催月	事業内容
1 生涯学習講座	自然の恵み 「薬草」を学び・活かす講座	5	1. ハーバルボール体験 (定員15名)
		6	2. ハーブをもっと食卓に キッチンハーブの寄せ植え (定員20名)
		8	3. ハーブ入りソーセージ作り (定員30名)
		9	4. 漢方の力 代謝の良いからだ作りのヒント (定員25名)
		9	5. いぶきの恵み：よもぎを収穫して万能保温クリーム作り (定員25名)
		11	6. 薬膳をもっと身近に 旬の食材を美味しくいただく薬膳カフェメニュー (定員20名)
	湖北センゴクセミナー2018 (定員50名 全5回)	5	1. 戦国の寺院
		6	2. 伊吹山の山寺 ～太平寺・弥高寺
		7	3. 敏満寺を中心とした発掘調査の成果
		9	4. 白山平泉寺の歴史と魅力
		10	5. 現地研修 [白山平泉寺を訪ねて]
	エンジョイ講座	5	リンパを流して脱！むくみ (定員20名)
		6	クラフト編みBAG：2回講座 (定員8名)
		7	本場仕込みのベルソーシェフクッキング (定員20名)
		10	オシャレなスマホ写真の撮り方 (定員15名)
		10	オトナなブローチ ～ナチュラル刺繍で～ (定員15名)
		10	美味しいコーヒーの淹れ方 (定員15名)
		12	年末に向けて暮らしをスタイリング ～整理収納のコツ～ (定員30名)
		5～3	日曜ヨガLesson (定員20名)
5～11		フラワーアレンジメントLesson 昼の回：6回講座 (定員15名)	
5～11		夜の回：6回講座 (定員15名)	
5～11		わんぱくフィットネス：4回講座 (定員 親子20組)	
6～12		ぱくぱく体験 おやこで一緒に作って食べよう：4回講座 (定員 親子15組)	
10～12		年長さんのえんぴつのおけいこ：6回講座 (定員15名)	
10		糺屋吉右衛門に学ぶ 手作り味噌 (定員30名)	
11		草木染 ～私だけの色 ストール～ (定員15名)	
12		迎春おもてなしクッキング&小物扱い等 (定員20名)	
12		迎春フラワーアレンジ (定員20名)	
3		春咲フラワーアレンジ (定員20名)	
3	姿勢スッキリlesson		

2	主催事業	●かくとだにOPENセレモニー	5	
		●かくとだにOPENイベント	5	
		●SOMOSOMOマルシェ	5	
		●夏祭り・息吹の奏	7	
		●ティーンズのための音楽Fes (ゲルメイト当日)	9	*ホワイエや円形広場を会場にした音楽LIVE
		●ホールコンサート	未定	*音楽コンサート
		●キッズ Fes	11	*パフォーマンスショー *いぶき青少年作品展
3	他団体との 共催事業	○さつきふれあい文化祭	6	市文化協会伊吹支部との共催
		○秋の伊吹文化祭	10	〃
		○新春かるた&もちつき大会	1	市青少年育成市民会議伊吹支部との共催
		○子どもだけの映画会	12	市子ども会育成連合会伊吹支部との共催

平成30年度運営事業計画 【伊吹山文化資料館】

	事業名	事業内容
1	資料収集事業 (学芸員との業務連携)	伊吹・山東地域を中心に市内に残る貴重な資料に対する情報の収集を行い、とくに山麓地域における自然資料、考古資料、歴史資料、文献資料等の収集を積極的に 行うことで、その散逸を防ぐとともに、展示や啓発活動などに活用する。あら たな、収集資料について専門家の指導を得ながら調査を行い、展示・報告を行う。 (セメント産業関係資料等)
2	資料保管事業 (学芸員との業務連携)	資料館には約300点の展示資料と約900点の収蔵資料があり、その内訳は民 俗資料を中心に、自然資料、考古資料、歴史資料、文献資料などがある。これら は、大切な市の財産として専門職員を有する文化財所管課によって保管や活用が 行われる必要があり、所管課と密接に連携し、指導を受けながら行う。また、一 部寄託資料の取扱いについても所管課の許可と立会いのもとで行う。
3	資料貸出業務 (学芸員との業務連携)	資料館では年間20件程度の資料(写真・書籍含む)の貸し出しや、写真の掲載 の許可申請等がある。対象は、学校が多く、庁内や関係機関、他の博物館施設、 出版社・マスコミなどがある。保管資料は市の教育財産であることから、これら の貸し出し手続きについては文化財所管課を通じて積極的に 学校への貸し出しについては、どのような資料がどの授業・活動に利用できるの かをリサーチし、情報化して、積極的に市内の各学校へ提案する。あらたに、ケ アセンターや各集落のサロンでおこなわれる回想法事業への民具の貸し出しキッ トを用意して貸し出しを充実させる。
4	常設展示 (学芸員との業務連携)	常設展示は、資料館のメインテーマ「伊吹山地とその山麓の自然と文化」にそつ て、4つの展示室それぞれにサブテーマを設け、さらに22の小テーマに分けて いる。 指定管理移行後11年目を迎え、引き続き展示内容や資料の点検をし、損傷等が あったものについては、修理等で補修をし、来館者の立場になって展示内容の充 実と、展示室の維持管理を行うよう心がける。 米原市のシンボルである「伊吹山」をキーワードに、米原市らしい展示のあり方 と情報の発信に努める。

5	企画展示 (学芸員との業務連携)	<p>常設展は、全体を通じて資料館のメインテーマ「伊吹山地とその山麓の自然と文化」を広く学んでいただき、体感してもらい、伊吹山や市内山麓地域の情報を発信することを目的としたものである。これに対し企画展示は、特別に選定した情報を特定期間内において深化した内容で展示公開するもので、普段見ることができない資料や作品に接していただき、山麓地域を中心に新たな米原市の情報を発信するものである。平成30年度は7回の企画展を開催し、開館以来の企画展を継続している。</p> <p>《平成30年度》</p> <p>ー実施計画ー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「追憶の徳山村 ー増山たづ子生誕100年写真展ー」 (通算132回) 2. 「小さな布切れの世界ーパッチワーク作品展ー」 3. 「出雲井と湖北の水利ー水とくらしー」 4. 「伊吹山を知るやさしい地学ー石灰とくらしー」 5. 「ホネ・ほね・骨ー生き物の構造を知ろうー」 6. 「伊吹山の石灰利用」 7. 「地域と歩む！杉沢遺跡発掘」 <p>★玄関ミニ企画展：随時</p>
6	いぶき歴史アカデミー (学芸員との業務連携)	<p>平成30年度は、引き続き伊吹山文化資料館独自の講座を設け、年間1テーマを取り上げて「いぶき歴史アカデミー」を開催する。休日開催により受講生の増加を図り、広く募集して受講される方の範囲を広げ、資料館ファンを増やす。</p> <p>今年度のテーマ「近江の城郭調査最前線！」</p> <p>毎月第2日曜日午前中開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数：11回 ・募集対象：一般 40人 ・受講料：年間4,000円 <p>5月「城郭調査最前線 ー最新の調査成果よりー」 (滋賀県立大学 中井 均 氏)</p>

		<p>6月「貴生川遺跡と植城・竜法師城」 (甲賀市教育委員会 小谷 徳彦 氏)</p> <p>7月「比良山麓の山城と山寺」 (県文化財保護協会 小林 裕季 氏)</p> <p>8月「在地の城 関津城・生津城」 (安土城考古博物館 藤崎 高志 氏)</p> <p>9月「六角氏の守護所・金剛寺城」 (近江八幡市教育委員会 才本 佳孝 氏)</p> <p>10月「観音寺城と観音正寺」 (滋賀県平和祈念館 伊庭 功 氏)</p> <p>11月 現地研修「小堤城山城・星ヶ城」 (滋賀県立大学 中井 均 氏)</p> <p>12月「織田信長と湖東の城(鯉江城など)」 (郷土史研究家 山本 一博 氏)</p> <p>1月「佐和山城の最新調査結果」 (彦根市教育委員会 三尾 次郎 氏)</p> <p>2月「湖北の平地居館・下坂氏館」 (長浜市教育委員会 北川 遼 氏)</p> <p>3月「赤色立体図から読む小谷城」 (長浜市教育委員会 古山明日香 氏)</p> <p>予備「謎の巨大城郭・男鬼入谷城」 (米原市教育員会 高橋 順之 氏)</p>
7	古文書に親しもう！一初級編一	<p>今年度は、身近な古文書に触れ読めることができるようになることを目的に、3年目の受講生も引き続き受講をしていただき、あらたに受講生を増やしていきます。</p> <p>《実施計画》</p> <p>5月「古文書の見方」</p> <p>6月「古文書を読む 入門編1」</p> <p>7月「古文書を読む 入門編2」</p>

		<p>8月「古文書を読む 入門編3」</p> <p>9月「実際の古文書を見よう」</p> <p>10月「古文書を読む 入門編4」</p> <p>11月「古文書を読む 入門編5」</p> <p>12月「古文書を読む 入門編6」</p> <p>1月「古文書を読む 入門編7」</p> <p>2月「古文書を読む 入門編8」</p> <p>3月 講座「古文書から読み解く地域の歴史」</p>
8	<p>米原市歴史講座 (市直營業務により 学芸員と業務連携)</p>	<p>《教委主催事業：米原市歴史講座の受け入れ》</p> <p>米原市に関連する歴史・自然などさまざまなテーマを取り上げて、研究者や地域に方からわかりやすいお話をいただき、さらに、市内や隣接地域の史跡や文化財を探訪する内容を加えて、内と外から、深く米原市の歴史文化、民俗、自然を学ぶことを目的とした、「歴史講座」が文化財所管課で開催され、この中で、山麓地域を対象とした講座内容やテーマの設定などの企画を担当し、資料館が地域の生涯学習の場となるよう市の歴史講座を受け入る。文化資料館友の会も参加し、研修の一環とする。</p>
9	<p>体験事業</p>	<p>＜「体験教室」伊吹山まるかじり＞</p> <p>伊吹山や身近にある素材、資料館の資料を使って、体験活動を行ったり、自分だけのオリジナルな作品づくりを実施する。</p> <p>低学年は、親子対象、中高学年は子どものみの参加も、可能とし市が取り組んでいる「親子の絆」作りや「食育」事業に関連づけ、身近な素材の発見、親子でできる学習の継続、安全な子どもの居場所づくりにも寄与することなどを目的とする。</p> <p>《平成30年度実施の体験活動計画》</p> <p>こども体験教室（伊吹まるかじり隊）</p> <p>郷土の自然・地理・地域の成り立ちや歴史を、体験活動を通じて深めることを目的に、低学年の子どもたちから、興味をもって参加できるような企画を進める。</p> <p>体験教室を通じて、米原市に誇りを持ち、地域の子どもたちが、さまざまな機会に資料館に接する機会を提供することによって、子ども達の生活に資料館の存在</p>

を位置づけ、その意義を知ってもらう。

(実施事業項目)

- 5月 「竹炭盆栽づくり」
- 6月 「伝統食ーサバそうめんを作ろうー」
- 7月 「鉄兵さんの切り絵教室」
- 8月 「マユの糸取りを知ろう」
- 9月 「関ヶ原弾薬庫見学」
- 10月 「七輪を使ってサンマ焼き体験」
- 11月 「弥高百坊へのろし駅伝」
- 12月 「しめ縄を作ろう」
- 1月 「琵琶湖のオオワシを見に行こう」
- 2月 「地場産業ーいぐさボードを作ろうー」
- 3月 「ジビエ料理ーシシ肉コロケ作りー」

特別編1 そばの種まき・収穫・そば打ち (3回)

特別編2 オオクワガタを育てよう (3回)

《夏休み・春休みこども歴史教室》

歴史分野のさまざまな体験を通じて、地域の成り立ちや歴史を知ること、故郷への愛着を深めることを目的に開催する。

(実施事業項目)

*夏休み：(各20名+保護者)

「化石を探しに行こう (伊吹山)」

「シカの角で骨角器作り」

*春休み体験まつり：(各20名+保護者)

「火起し機に挑戦！

ー竹パン&バームクーヘン作りー」

		<p>「茶室で井伊直弼の話聞いてお茶をたてよう」</p> <p>《出前講座》</p> <p>地域のサロンや子ども会などへの出前講座にも取り組む。</p>
10	学校との連携	<p>資料館は、学校と地域（友の会）の橋渡しをする重要な役割を担っており、学校—資料館—地域の良好な関係を構築してきた。学校利用としては、歴史・理科学習とともに総合的な学習の時間を利用した市内外の学校の学習に対応する。社会科・理科・総合的な学習の時間をより豊かにするために、資料館を活用して、展示を見たり、実物に触れたり、体験したりして、授業の一環として、地域の生きた学習としての一助にしてきた。</p> <p>◎小学校1年生の「昔の遊び」の体験学習として展示物の遊び道具を使ってコマ・羽つき・けん玉などで遊ぶ。</p> <p>◎小学校3年生の「昔の暮らし」の体験学習として、「石臼できなこ挽き」「火鉢でかきもちやき」「なわなひ」「洗濯板体験」「火のし体験」など。</p> <p>（長浜市や岐阜県不破郡関ヶ原町、垂井町の小学校も来館）</p> <p>◎伊吹山へ登ろう事前学習への協力と指導</p> <p>◎小学校6年生社会科「歴史」など</p> <p>この他、出前の体験活動や館内見学、大学の聞き取り調査の協力、伊吹山中学校・大東中学校の職場体験の受け入れを行う。</p>
11	資料館友の会の育成	<p>資料館には現在30名の市民ボランティア「伊吹山文化資料館友の会」が活動している。友の会は資料館開館前の平成9年から準備作業を教育委員会の指導のもとで行っており、開館後は管理・運営・企画面において、教育委員会と協働しながら資料館の運営にあたってきた。廃校を利用し、手作りの暖かい展示と、来館者へのもてなしを目指す資料館活動には必要不可欠な存在であり、「全国廃校リニューアル50選」（文部科学省：平成15年度）選定の要因であると認識している。地域の人によって作られ、支えられている資料館活動を継続するために、今後も友の会活動育成と良好な関係構築、新たな会員の確保に努める。</p> <p>さらに、友の会活動により、資料館で他の会員や児童・生徒、来館者に接することは、高齢者の多い会員にとって、今まで培ってきた知恵や経験を生かす場であり、生きがいの場となっている。友の会の育成は、高齢者の健康面でのケアにも</p>

		<p>役立つものであり、こういう側面でも活動の充実を図る。</p> <p>友の会の主な活動は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者への対応① <p>毎週土・日曜日に2名ずつ資料館に詰め、地域の情報発信を行う。</p> ・来館者への対応② <p>予約団体への展示解説や、社会科・総合学習での児童生徒に対する指導・実演を通じて、山麓文化の伝承に取り組んでいただく。</p> ・地域学習の講師 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生の昔のくらし体験学習「縄ない」体験用のワラの確保とワラ打ち事前準備。 ・体験教室等の講師 <p>親子対象の体験教室の講師として、米原の戦争遺跡、七輪を使ってサンマ焼き体験、ソバ作り（種まき・収穫・そば打ち）、石臼挽き、しめ縄づくりなどの講師役として活動していただく。</p> ・展示物の修理 ・定期清掃活動 <p>現在行われている毎月第1金曜日の定期清掃を継続して、内外の環境美化に努めていただいている。また、夏場の葉刈りや年末の清掃、門松作りなどを委託する。</p> ・調査研究活動 <p>収蔵庫での民具の仕分けや常設展示のリニューアルについても指導をしていただく。</p> ・研修会の開催 <p>ボランティア活動の先進地で研修を実施することで、会員相互が山麓地域に関する事象について共通理解をする活動を進める。</p>
12	福祉部局との連携	<p>「回想法」は初期の認知症患者に対する有効な療法として各地で取り組まれている。その手法の一つに古い民具を活用したものがあり、かつて使っていた数種類の道具を実見しながら、過去の記憶を引き出し、参加者が相互に語り合うなかで病状の進行を防ぐことを目的とする。</p> <p>資料館には、昭和30年代まで利用されていたさまざまな民具が展示・保管されて</p>

		<p>おり、例えば台所用品・裁縫道具・学校用品などをセットにして、資料館職員が同行して福祉担当者と協働して回想法を行うことが可能であり、福祉部局との調整を行い、職員が研修に参加して、包括センターとの連携を取り実施する。</p> <p>また、地域のサロンの受入れや、資料館の資料を持ち出した出前講座など積極的 に取り組み、教育のみならず、福祉面での資料館の役割を充実させる。</p>
13	地域との連携	<p>資料館が所在する春照区や隣接する高番区や上野区のまちづくり事業に協力して、地域における資料館の役割の充実に努める。</p> <p>上野区に開設される伊吹山インフォメーションセンターの展示や活動に資料館保管資料の貸出や、ハードソフト面のノウハウと提供し、広い伊吹山の情報提供に努める。</p>
14	貸館業務	<p>貸館に伴う許可証の発行や利用料金の収受については厳正に行うが、利用促進のため、館内を明るく入館しやすいように保っていく。</p>

平成30年度運営事業計画【体育施設】

施設名等	事業の内容
<p>総合体育館 室内運動場</p>	<p>「幼児運動プログラム」毎月1回程度 全11回 約40名 いぶき認定こども園の協力のもと、幼児（4～5歳）を対象に運動習慣を身につける導入として実施。 体操や柔軟等楽しい中に礼儀やルールを守る事も指導。 アンケートで運動習慣の変化を確認。 幼児体力測定にそった種目も実施し体力向上を目指す。</p> <p>「体験幼児運動プログラム」随時 いぶき認定こども園以外の市内保育園、幼稚園と連携し、幼児（4～5歳）を対象に幼児運動プログラム体験版として実施。</p> <p>「文化・スポーツ事業 ドリームレッスン」2月頃 80名 ※トップアスリート等によるスポーツ講演及び教室 子どもから高齢者までスポーツ及び文化に親しむきっかけづくりの場とする。案：ボールゲーム</p> <p>「ゲートボール教室」10月 1回 15名 小学生低学年を対象に地元高齢者の指導により、多世代の交流と地域の繋がり、輪を広げる。※いぶきSC連携</p> <p>「トレーニング基礎講習」通年 100名 トレーニング機器の利用方法や基本的な運動方法、健康維持に必要な知識を学び、利用者の運動習慣向上を目指す。問診、血圧測定、身体測定を実施。</p> <p>「スポーツ関連相談事業」通年 地域の交流や活動で利用されるニュースポーツ等の説明や指導。</p>
<p>体育施設（第1・2G）</p>	<p>「めざせ1日1万歩事業」健康グラウンドゴルフ4回/1年 各100名 参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げる。 各事業で、万歩計を貸与配布し歩数を計測。各家庭でも歩く意識を持ってもらうために「月間歩行記録表」を配布し1日の歩行量を意識してもらい日々の健康増進に繋げる。</p> <p>「めざせ1日1万歩事業」室内健康グラウンドゴルフ2回/1年各60名 参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げる。 寒い冬季でも運動する機会を提供することにより、高齢者の自宅への閉じこもりなどを減少させ、元気高齢者の増加に繋がる事業をめざす。</p> <p>「第9回楽しくグラウンドゴルフ大会」11月下旬（1回）100名 グラウンドゴルフ愛好者はもちろん、初めての方でも楽しく参加できるように協会等の登録は関係なく、どなたでも参加可能。参加者に万歩計を配布し、歩く意識を高め健康増進に繋げる。 *めざせ1日1万歩事業 ※B&G共催</p> <p>「体力診断＝自分の体を知ろう＝」3月（1回）40名 新体力測定（文科省）を基本に実施。主に高齢者の測定を実施し、自らの体力の現状をまず把握し、今後の運動に繋げる。また、計測数値はデータ管理を行い、毎年継続した実施によるデータの発</p>

	<p>信やその結果による事業の検証を実施。</p>
B & G 海洋センター	<p>「アクアキッズ教室」7月中旬 全4回 12名 幼児（4～6歳）対象の水中運動教室。様々な自然体験ができる海洋性レクリエーションのキッカケとなる、水とのふれあい。水に対する不安や恐怖を幼児期から持たないよう、身近な地域と指導者で楽しく、安全に水とふれあいます。</p> <p>「びよびよ水泳教室」7月下旬 全4回 10名 泳ぎの苦手な小学低学年（1～3年生）対象。顔付け、水慣れ、けのび等基礎を指導し水への親しみと楽しさを伝える。</p> <p>「楽しく教室（高齢者転倒予防）」通年 毎週木曜 15名程度 高齢者の転倒予防教室。下半身の筋力維持と参加者同士の繋がり、健康に関する知識の習得を目指し、自宅でも継続して運動できるよう働きかける。定期的に測定を実施し、事業検証を行う。</p> <p>「水辺の安全教室」7・8月 3回程度 各30名 「水の事故ゼロ運動」を推奨し、子どもたちを中心に河川、海等での危険回避の知識を伝え、安全に水辺活動が行えるよう、解りやすい紙芝居等を使用して実施。</p> <p>「学校連携事業 水辺の安全教室」6・7月 市内小学・中学校連携 「水の事故ゼロ運動」を推奨し、春照・伊吹小学校、伊吹山中学校と連携のもと、体育の事業の一環として生徒たちに河川、海等での危険回避の知識や救助方法を伝え、安全に水辺活動が行えるよう、解りやすい紙芝居等を使用して実施。</p> <p>「カヌー体験」7月 1回 12名 「カヌー教室」8月 1回 8名 小学生高学年を対象に、自然の中で楽しく活動できる楽しさを伝えるため、カヌーの体験と基本操作と安全対策を学び、日常では体験できない自然体験を実施。</p> <p>所属団体関係 「滋賀県B & G連絡協議会事業」びわこマリンスポーツの集い他 「近畿B & G連絡協議会事業」 総会他 「米原市カヌー指導者会事業」 びわこマリンスポーツ他</p>
テニスコート	<p>「フレンドリーマッチ」 地域の硬式テニス愛好者を対象に、交流を目的としたトーナメント交流大会を実施。※いぶきSC連携</p>
県立伊吹運動場	<p>「ホッケースクール」レベルアップ編 9～11月 10回程度 15名 「ホッケースクール」初級編 9～11月 10回程度 15名 S56年びわこ国体以来、伊吹地区で根付いたホッケー競技を通じて、子どもたちの体力増進と団体競技活動の中で社会性を養う。また、地域指導者とのふれあいによる地域の繋がりを目指し、地域の活性化を担う。※米原市ホッケー協会協力</p> <p>「指導者研修会」7月 1回 20名 競技種目は問わず、指導者、保護者、指導に興味のある方等、どなたでも参加可能。指導時の安全管理はもちろん、特に小学生・中学生の成長段階に応じた正しい指導知識を各有識者の指導によ</p>

	り実施。また、指導研修参加者の現場での活動状況や活動実績を分析し後の研修内容に反映していく。
他団体協力事業	伊吹地区体育振興会 「スポーツフェスティバル」 5月 「伊吹ふれあい体育祭」 10月 米原市ホッケー協会 「伊吹カップ」 6月 「西日本ホッケー大会」 11月 「高円宮杯 2018 ホッケー日本リーグ 女子」 6月 「ホストタウン NZ 事業」 7月 米原市 「かっつび伊吹」 8月 「健康いきいきウォーク」 11月

平成30年度

収支予算書

公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

平成30年度 公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 収支予算書

(1) 収入の部

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

No1

(単位:千円)

科	目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較 (C=A-B)	備 考
基本財産運用収入		2	2	0	基本財産定期預金利息
使用料収入	計	2	2	0	
	総合体育館使用料	550	550	0	
	トレーニング室使用料	1,150	1,150	0	
	屋内運動場使用料	500	500	0	
	小 計	2,200	2,200	0	
	薬草風呂使用料	14,170	16,230	△ 2,060	入浴料
	公民館使用料	2,344	3,516	△ 1,172	施設利用 公民館施設など
	薬草の里行政財産	1,312	1,333	△ 21	自動販売機・元氣市など
	小 計	17,826	21,079	△ 3,253	
	資料館使用料	540	442	98	入館料
	B&Gプール使用料	338	350	△ 12	使用料
	第1グラウンド使用料	83	262	△ 179	使用料・照明料 ※改修工事予定
	第2グラウンド使用料	74	74	0	使用料
	テニスコート使用料	184	184	0	使用料・照明料
	県立伊吹運動場使用料	1,566	1,566	0	使用料・散水料・照明料他
	計	22,811	26,157	△ 3,346	
事業収入	総合体育館文化スポーツ事業	100	100	0	Dream lesson
	受講料収入 スポーツ教室事業	200	200	0	各種教室(わんぱく、楽々、GG等)
	小 計	300	300	0	
	薬草の里受講料	4,499	5,233	△ 734	ホール自主事業・公民館受講料など
	薬草タオル等販売事業	2,164	1,886	278	タオル等売上
	小 計	6,663	7,119	△ 456	
	B&Gプール事業	112	100	12	水泳教室受講料など
	計	7,075	7,519	△ 444	

科	目	当年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	比較 (C=A-B)	備考
受託事業	放課後受託事業	22,870	16,526	6,344	米原市より(児童クラブ)
	計	22,870	16,526	6,344	
指定管理料収入	伊吹薬草の里文化センター指定管理料収入	51,571	51,571	0	米原市より
	伊吹山文化資料館指定管理料収入	8,801	8,801	0	
	伊吹B&G海洋センター指定管理料収入	12,250	12,250	0	
	伊吹第1グラウンド	1,975	2,411	△ 436	
	伊吹第2グラウンド	331	331	0	
	テニスコート	280	280	0	
	県立伊吹運動場指定管理収入	2,179	2,179	0	滋賀県より
	計	77,387	77,823	△ 436	
補助金収入	事業団運営補助金	15,260	15,260	0	米原市より
	計	15,260	15,260	0	
寄附金収入	寄附金収入	1	1	0	
	計	1	1	0	
基本財産収入	基本財産収入	4	4	0	普通預金利子
	計	4	4	0	
雑収入	受取利息	30	30	0	
	雑収入	85	85	0	自動販売機電気代
	事業団本部	0	530	△ 530	
	薬草の里雑入	3	3	0	
	県立伊吹運動場	1	28	△ 27	
	資料館	89	646	△ 557	
	小計	119	676	△ 557	
	計	900	900	0	
前年繰越収支差額	前年繰越収支差額	900	900	0	
	計	900	900	0	
収入合計		146,429	144,868	1,561	事業団本部 米原市指定管理 米原市受託事業 滋賀県指定管理
					18,782 101,029 22,870 3,748

平成30年度 公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団 収支予算書

(1)支出の部

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

No1

(単位:千円)

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考	
事業団本部	運営費					
		役員報酬	352	352	0	理事・監事報酬
		交際費	30	30	0	慶弔費
		食料費	10	10	0	会議用お茶
		小計	392	392	0	
	事務局費					
		給料	3,500	3,500	0	職員
		職員手当	1,992	1,992	0	各種手当
		賃金	4,140	4,320	△ 180	臨時職員3
		法定福利費	1,836	1,560	276	社会保険料・労災保険・雇用保険など
		旅費	50	50	0	普通旅費
		車両維持費	60	60	0	ガソリン代
	負担金	10	10	0		
	手数料	100	100	0	登記手数料	
	小計	11,688	11,592	96		
基金費						
	基金積立金	1	1	0	レーク伊吹積立	
	小計	1	1	0		
総合体育館						
	消耗品費	150	150	0	事務用品・電球など	
	燃料費	85	85	0	灯油代など	
	光熱水費	2,055	2,055	0	電気・水道・ガス代	
	修繕費	100	100	0	一般施設管理修繕	
	通信費	98	98	0	切手・はがき・電話	
	保険料	421	421	0	火災・施設賠償・自賠責・任意保険など	
	委託費	1,936	1,936	0	公益コンサル・警備保障・電気保安管理など	
	使用料賃借料	701	701	0	リース・チャージ料・下水道・放送受信料・ZTV・AED	
	諸税	300	300	0	自動車税・重量税・法人県民税など	
	小計	5,846	5,846	0		

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考
事業団本部	屋内運動場	0	0	0	
	消耗品費				
	光熱水費	130	130	0	電気代
	修繕費	50	50	0	施設管理
	保険料	179	179	0	施設賠償保険
	委託費	134	134	0	清掃管理
	小計	493	493	0	
	文化スポーツ事業				
	報償費	200	296	△ 96	講師謝礼
	運営事業消耗品費	62	62	0	各教室運営
	事業保険料	80	80	0	スポーツ保険
	印刷製本費	20	20	0	チラシ印刷など
	小計	362	458	△ 96	
	計		18,782	18,782	0
受託事業 (放課後安心プラン事業)	放課後児童クラブ				
	賃金	19,422	14,529	4,893	指導員、サポート、運転手・通勤手当など
	法定福利費	983	572	411	社会保険料・労災保険・雇用保険など
	旅費	180	156	24	研修
	消耗品費	198	159	39	事務用品・インク
	燃料費	84	79	5	公用車
	修繕費	40	20	20	施設修繕 待機児童対策修繕料
	医薬材料費	20	10	10	救急用品
	通信費	144	144	0	携帯電話使用料(2台分)
	手数料	6	6	0	公用車
	保険料	70	70	0	任意保険(送迎車両)
	施設費	1,112	781	331	会場使用料
	諸経費	611	0	611	事務諸経費
	小計	22,870	16,526	6,344	
計	22,870	16,526	6,344		

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考	
伊吹葉草の里文化センター指定管理事業費	管理費					
	給料	15,084	16,315	△ 1,231	職員	
	賃金	9,940	9,439	501	臨時職員	
	法定福利費	2,921	3,470	△ 549	社会保険料・労災保険・雇用保険など	
	旅費	300	40	260	社会教育主事資格取得旅費	
	食料費	60	0	60	指導者等	
	事務費	3,800	3,328	472	事務用品・ホール消耗品、印刷製本費、葉草本	
	印刷製本費	100	0	100		
	燃料費	6,411	5,535	876	風呂・ホール・公用車ガソリン	
	光熱水費	12,818	15,500	△ 2,682	電気・水道・ガス代・下水道	
	修繕費	1,000	1,000	0	施設管理	
	通信費	165	165	0	電話・切手代など	
	手数料	567	665	△ 98	水質検査・ピアノ調律など	
	広告宣伝費	100	52	48	かくとだに販路拡充	
	保険料	250	250	0	施設傷害保険・サポーター保険・自賠責保険など	
	委託料	11,755	11,467	288	建物清掃・空調設備・電気保安管理など	
	使用料賃借料	1,035	1,530	△ 495	事務機器リースなど	
	負担金	45	45	0	研修負担金など	
	諸税	3,000	3,075	△ 75	消費税など	
	仕入	1,200	1,379	△ 179	タオル・葉草他	
その他	240	240	0	中退金		
	小計	70,791	73,495	△ 2,704		
運営費	報償費	468	639	△ 171	公民館講師謝礼	
	旅費	100	100	0		
	食料費	45	45	0		
	消耗品費	450	436	14	講座消耗品、印刷製本費	
	印刷製本費	250	250	0	チラシ印刷など	
	講座経費	1,526	1,734	△ 208	講座経費 バス借り上げ等	
	事業費	2,430	3,600	△ 1,170	ホール事業	
		小計	5,269	6,804	△ 1,535	
		計	76,060	80,299	△ 4,239	

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考
伊吹山文化資料館 指定管理事業費	管理費				
	給料	3,000	3,000	0	職員
	賃金	2,184	2,184	0	臨時職員
	法定福利費	550	550	0	社会保険料・労災保険・雇用保険など
	旅費	10	10	0	研修費
	消耗品費	264	250	14	事務消耗品
	燃料費	116	116	0	灯油
	光熱水費	1,176	1,170	6	電気・水道代・下水道代
	修繕費	100	100	0	施設管理
	通信費	94	52	42	電話代
	手数料	20	25	△ 5	振替手数料
	保険料	20	32	△ 12	傷害保険
	委託料	837	837	0	建物清掃・警備保障・電気保安管理など
	使用料賃借料	596	580	16	事務機器リース・NHK・ZTVなど
	負担金	5	5	0	博物館協議会負担金
	諸税	370	360	10	消費税
	小計	9,342	9,271	71	
	運営費				
	報償費	0	0	0	米原市の運営(直営)
	旅費	0	0	0	
食料費	0	0	0		
消耗品費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
通信費	0	0	0		
使用料賃借料	0	0	0		
小計	0	0	0		
計		9,342	9,271	71	
B&G伊吹海洋 センター指定管理 事業費	管理費				
	給料	6,870	6,870	0	職員(第1・2G・テニスコ兼務)
	賃金	1,230	1,230	0	監視員

科	目	当年度予算 額(A)	前年度予算 額(B)	比較 (C=A-B)	備考
B&G伊吹海洋 センター指定管理 事業費	管理費				
	法定福利費	1,003	1,003	0	社会保険料・労災保険・雇用保険など
	事務消耗品費	183	183	0	事務消耗品・除草代など
	光熱水費	1,634	1,659	△ 25	電気・水道・ガス代
	修繕費	100	100	0	施設管理
	衛生消耗費	156	156	0	塩素ハイクロン DPD試薬など
	通信費	84	84	0	電話・切手代など
	手数料	91	91	0	プール検査
	保険料	220	220	0	入場者保険など
	委託料	594	594	0	上屋脱着・清掃
	使用料賃借料	120	120	0	下水道代
	備品購入費	0	0	0	
	負担金	65	65	0	地域協議会(近畿・滋賀県)・マリン・リーダーなど
	諸税	200	200	0	消費税
	小計	12,550	12,575	△ 25	
	運営費				
	報償費	10	20	△ 10	教室講師謝礼
旅費	140	105	35	地域協議会会議(滋賀・近畿) 全国研修など	
食料費	0	0	0		
消耗品費	0	0	0		
印刷製本費	0	0	0		
負担金	0	0	0		
小計	150	125	25		
計		12,700	12,700	0	
伊吹第1グラウンド 指定管理事業費	管理費				
給料	0	0	0		
賃金	0	0	0		
法定福利費	0	0	0		
消耗品費	42	42	0	事務用品・除草代・石灰など	
印刷製本費	12	12	0		
光熱水費	1,577	2,142	△ 565	電気・水道代 ※改修工事予定	

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考
伊吹第1グラウンド 指定管理事業費	管理費				
	修繕費	100	100	0	施設管理
	委託料	155	205	△ 50	電気保安管理・除草委託
	使用料賃借料	62	62	0	下水道代
	備品購入費	0	0	0	
	諸税	110	110	0	消費税
	小計	2,058	2,673	△ 615	
	運営費				
	報償費	0	0	0	
	小計	0	0	0	
	計				
	小計	2,058	2,673	△ 615	
	伊吹第2グラウンド 指定管理事業費	管理費			
給料		0	0	0	
法定福利費		0	0	0	
消耗品費		83	83	0	事務用品・除草代・石灰など
印刷製本費		13	13	0	申請書印刷など
光熱水費		46	46	0	電気・水道代
修繕費		100	100	0	施設管理
委託料		59	59	0	除草委託
使用料賃借料		22	22	0	下水道代
備品購入費		40	60	△ 20	ネット
諸税		42	22	20	消費税
計		405	405	0	
伊吹テニスコート 指定管理事業費		管理費			
	給料	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	
	消耗品費	14	14	0	事務用品など
	光熱水費	144	144	0	電気・水道代
	修繕費	100	100	0	施設管理
	委託料	47	47	0	電気保安管理
	原材料費	40	40	0	人工芝用乾燥砂
	備品購入費	119	119	0	ネット、ブラシ、防風ネット
	計	464	464	0	

科	目	当年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(C=A-B)	備考
県立伊吹運動場 指定管理事業費	管理費				
	賃金	480	480	0	臨時職員(兼務)
	旅費	10	10	0	普通旅費
	消耗品費	120	120	0	散水ホース・清掃消耗品
	光熱水費	1,770	1,770	0	電気・ガス・水道代
	修繕費	1,020	1,020	0	施設管理
	通信費	50	50	0	電話・切手
	保険料	35	35	0	施設傷害保険
	委託料	153	153	0	電気保安管理
	使用料賃借料	50	50	0	下水道代
	諸税	60	60	0	消費税
	計	3,748	3,748	0	
	予備費	0	0	0	
計	0	0	0		
支出合計	146,429	144,868	1,561	事業団本部 米原市指定管理 米原市受託事業 滋賀県指定管理	
				18,782 101,029 22,870 3,748	
				146,429	

上記のとおり予算額は、収入支出、146,429千円と定め提出します。

平成30年3月23日

公益財団法人 伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団

代表理事 大澤 勉

資金調達及び設備投資の見込みについて

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

I 資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定 なし

II 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定 なし

■H29年度の財務3基準の判定

(公財)伊吹山麓スまいばらポーツ文化振興事業団

基準	会計区分	予算	判定	備考						
収支相償	公1	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>公益収益</td> <td style="text-align: right;">95,758,071</td> </tr> <tr> <td>公益費用</td> <td style="text-align: right;">97,400,906</td> </tr> <tr> <td>損益</td> <td style="text-align: right;">-1,642,835</td> </tr> </table>	公益収益	95,758,071	公益費用	97,400,906	損益	-1,642,835	○	赤字になるため要件を充たしません。
公益収益	95,758,071									
公益費用	97,400,906									
損益	-1,642,835									
公益目的事業比率		<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>公益費用</td> <td style="text-align: right;">97,400,906</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">= 64.97%</td> </tr> <tr> <td>法人費用合計</td> <td style="text-align: right;">149,928,058</td> </tr> </table>	公益費用	97,400,906	= 64.97%	法人費用合計	149,928,058	○	50%以上になるため、要件を充たしません。	
公益費用	97,400,906	= 64.97%								
法人費用合計	149,928,058									
遊休財産 (遊休財産額はH28年度を参照)		<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>公益費用(1年分)</td> <td style="text-align: right;">97,400,906</td> </tr> <tr> <td>遊休財産額</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table>	公益費用(1年分)	97,400,906	遊休財産額	0	○	公益費用が遊休財産額以上になるため、要件を充たしません。		
公益費用(1年分)	97,400,906									
遊休財産額	0									